

二 第3次三重県男女共同参画基本計画に基づく令和3〔2021〕年度事業概要

1 主な取組等

2 事業実施概要

基本方向Ⅰ 職業生活における女性活躍の推進

基本施策Ⅰ-Ⅰ 雇用等における女性活躍の推進

基本施策Ⅰ-Ⅱ 自営業における女性活躍の推進

基本施策Ⅰ-Ⅲ 仕事と子育て・介護が両立できる環境整備の推進

基本方向Ⅱ 男女共同参画を推進するための基盤の整備

基本施策Ⅱ-Ⅰ 政策・方針決定過程への男女共同参画の推進

基本施策Ⅱ-Ⅱ 男女共同参画に関する意識の普及と教育の推進

基本方向Ⅲ 誰もが安心して暮らせる環境の実現

基本施策Ⅲ-Ⅰ 多様な主体の参画・活躍に向けた支援と環境の整備

基本施策Ⅲ-Ⅱ 家庭・地域における活動の推進と健康の支援

基本施策Ⅲ-Ⅲ 男女共同参画を阻害する暴力等に対する取組

計画の推進

第3次三重県男女共同参画基本計画を着実に推進するため策定された第一期実施計画に掲げる事業について、令和3年度の実施状況等の概要をまとめたものです。

なお、担当課名は、令和4年度の名称となっています。

1 主な取組等

(1) 基本方向 I 職業生活における女性活躍の推進

○令和3年度の主な取組

- ・ UN Women（国連女性機関）が展開する「HeForShe」（女性の地位向上に男性の参加を呼びかける社会連帯運動）の趣旨の浸透を図るため、社内の「仕組み」を変えることで「行動」が変わり女性の活躍につながった取組事例を公募・顕彰する「チェンジ・デザイン・アワード 2022」を実施しました。
- ・ 県内の中小・小規模企業等を対象として、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）に基づく一般事業主行動計画の策定および策定後のフォローアップ支援をするため、セミナーの開催や専門アドバイザーの派遣を行いました。
- ・ 令和4年3月末時点で、「女性の活躍推進三重県会議」の会員数は550団体、一般事業主行動計画等の策定団体数は673団体となり、女性活躍推進の気運を高めることができました。
- ・ 企業の規模、業種にかかわらず、誰もが働きやすい職場環境や柔軟な働き方を実現するため、健康経営の視点も入れながら、アドバイザーの派遣や「みえの働き方改革推進企業」登録・表彰制度等の取組を進め、働き方改革の県内企業への普及を図りました。（登録企業数：126社、表彰企業：5社）
- ・ 保育所等の待機児童を解消するため、保育所（2か所）、認定こども園（8か所）の新設に対する支援を行うとともに、私立保育所等に年度当初から保育士を加配して、低年齢児保育の充実を図る市町への支援（14市町）を行いました。

○今後の取組方向

- ・ 女性活躍推進法の理念である、自らの意思によって働き又は働こうとする女性がその思いを叶えることができる社会の実現に向け、長時間労働や転勤等を前提とした男性中心型労働慣行の見直し、女性の職域拡大や管理職の増加、仕事と子育て・介護の両立に向けた取組をさらに推進していく必要があります。
- ・ このため女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画等の策定支援、女性の活躍にむけた企業の職場環境整備を図るための取組を行うとともに、企業や団体等に「女性の活躍推進三重県会議」への加入の働きかけを継続していきます。また、働き方改革の普及に向けた登録・表彰制度等や、保育の充実をはじめとした子育て支援を行っていきます。

○主な指標等

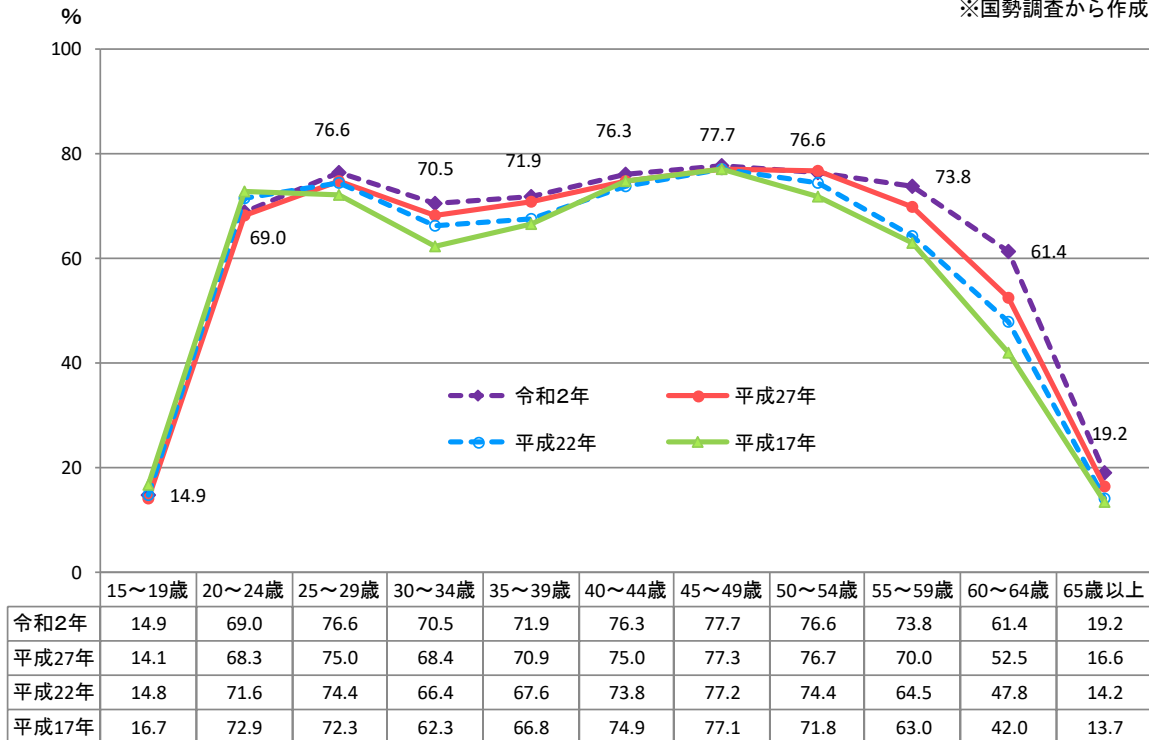
<三重県の女性の年齢階級別労働力率>

県内の就業者の女性の労働力率について、年齢階級別にみると、令和2年には、

25～29歳および45～49歳を頂点とする緩やかなM字カーブを描いています。また、30～34歳では、平成17年の62.3%から令和2年は70.5%に上昇し、M字の谷が浅くなっている状況が読み取れます。

三重県の女性の年齢階級別労働力率の推移

※国勢調査から作成

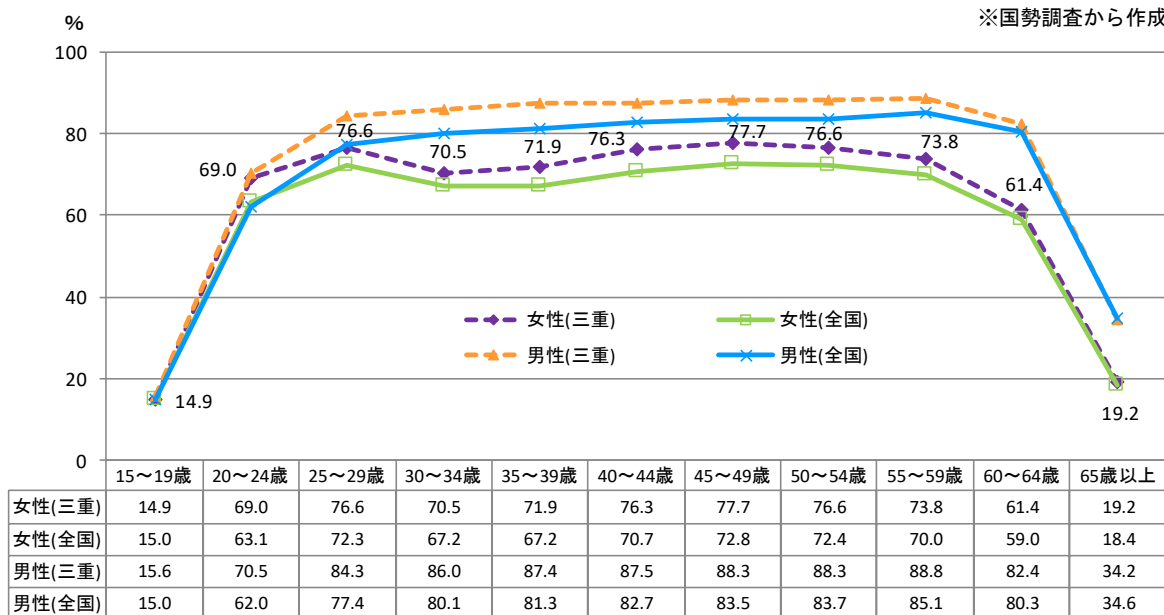


※数値は令和2年分のみ掲載

全国と比較すると、20歳以上の年齢において、女性の労働力率は全国より高くなっており、特に20～24歳では5.9ポイント上回っています。

三重県および全国の男女別年齢階級別労働力率の推移（令和2年）

※国勢調査から作成

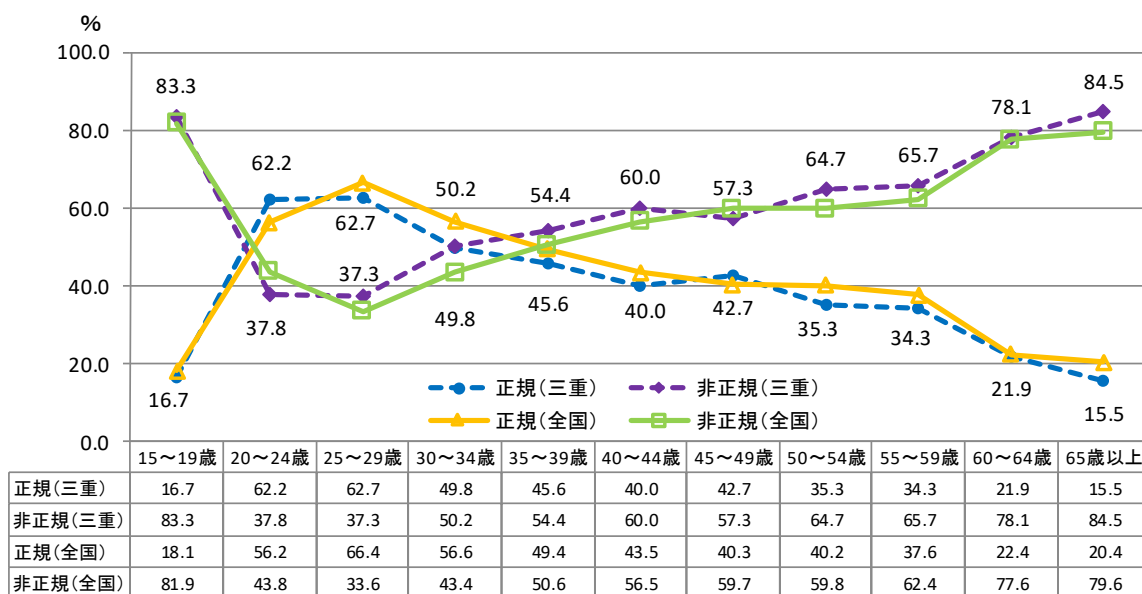


※数値は女性(三重)分のみ掲載

＜正規・非正規別の従業員割合＞

県内の女性の雇用形態に関して、正規・非正規別の年齢階級別割合をみると、30～34歳から非正規の割合が正規を上回っており、これは全国よりも早い傾向です。25～44歳の年代では、一貫して非正規の割合が全国よりも高い状況にあります。

女性有業者（雇用者）の年齢階級別正規・非正規の従業員・職員の割合（三重県および全国）



※平成29年就業構造基本調査から作成（各内訳項目を足したものを総数として割合を算出）

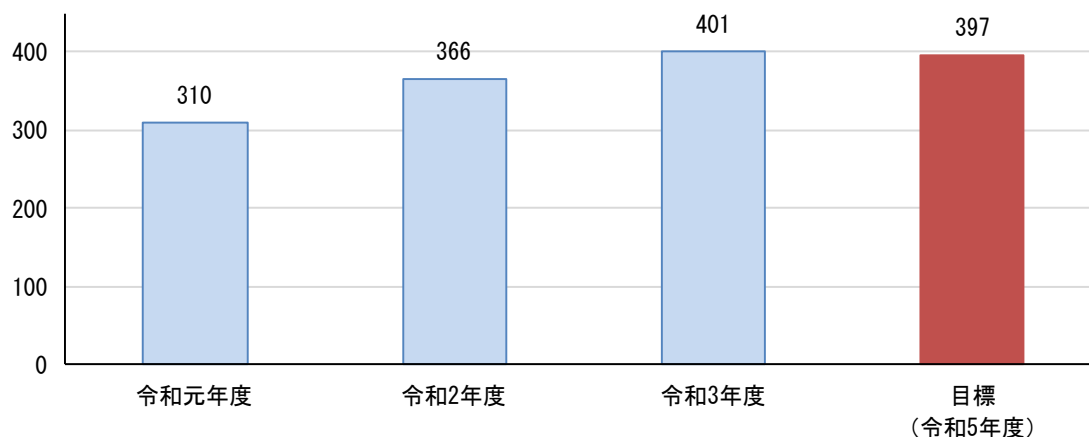
＜I-I 雇用等における女性活躍の推進＞

「女性活躍推進法に規定する事業主行動計画等を策定する、常時雇用労働者数100人以下の団体数」は、「第3次三重県男女共同参画基本計画 第一期実施計画（以下、「実施計画」と記載）」の現状値である令和元年度の310団体から、令和3年度は401団体に増加しています。

女性活躍推進法に規定する事業主行動計画等を策定する、常時雇用労働者数100人以下の団体数

(団体数)

※環境生活部ダイバーシティ社会推進課調べ

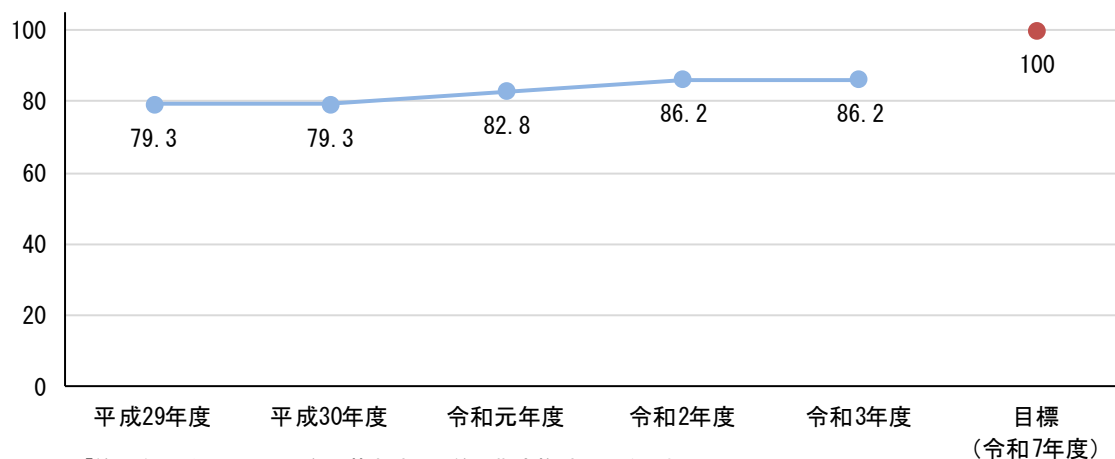


< I - II 自営業における女性活躍の推進 >

「女性委員が任命されている農業委員会の割合」は、平成29年度の79.3%から増加傾向にあり、実施計画の現状値である令和元年度の82.8%から、令和3年度は86.2%に増加しています。

女性委員が任命されている農業委員会の割合
(%)

※農林水産部担い手支援課調べ



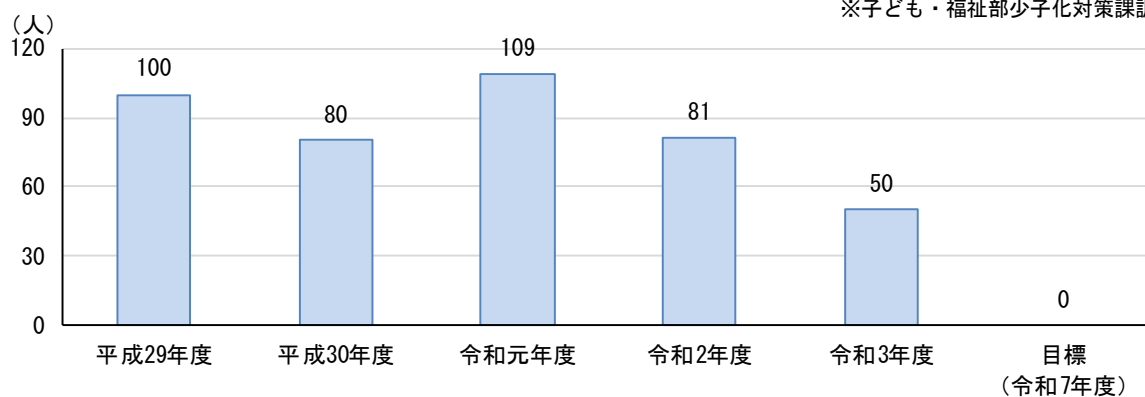
※「第2次三重県男女共同参画基本計画 第二期実施計画（改訂版）」において
目標として定めている指標については、平成29年度分からのデータを掲載しています。

< I - III 仕事と子育て・介護が両立できる環境整備の推進 >

「保育所等の待機児童数」は、平成29年度の100人から増減がありますが、実施計画の現状値である令和元年度の109人から、令和3年度は50人に減少しています。

保育所等の待機児童数

※子ども・福祉部少子化対策課調べ



※「第2次三重県男女共同参画基本計画 第二期実施計画（改訂版）」において
目標として定めている指標については、平成29年度分からのデータを掲載しています。

(2) 基本方向 II 男女共同参画を推進するための基盤の整備

○令和3年度の主な取組

- ・県の審議会等において、女性委員の割合が委員総数の40%以上60%以下となる構成をめざし、「男女共同参画の視点で進める三重県附属機関等への委員選任基

本要綱」に基づき、各部局へ働きかけを行いました。

- ・ 県男女共同参画センター「フレンテみえ」において、職員が学校や団体等に出向いて講演する「フレンテトーク」を行うとともに、「男女共同参画フォーラム～みえの男女（ひと）2022～」で講演会、パネル展等を開催しました。
- ・ 令和3年4月に施行した「性の多様性を認め合い、誰もが安心して暮らせる三重県づくり条例」を周知するため、リーフレットを作成し、県内市町をはじめ、経済団体や教育機関等に配布しました。
- ・ 子どもも教職員も自分らしく安心して過ごせる学校づくりと、多様性を認め合う社会づくりを進めるための授業や学校での取組を学ぶ研修講座を実施しました。

○今後の取組方向

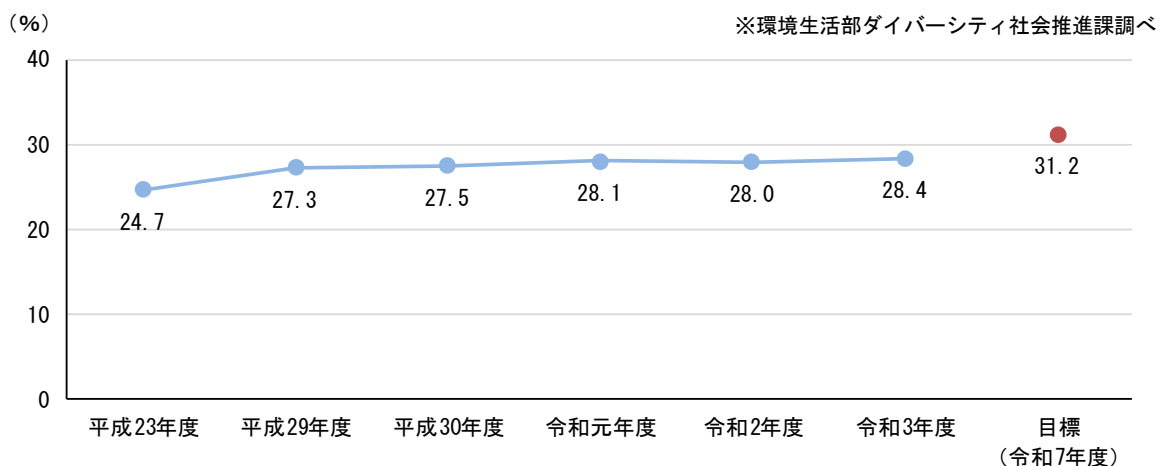
- ・ 県や市町等の審議会をはじめとした政策・方針決定過程への女性の参画を推進するとともに、男女共同参画および多様な性的指向・性自認に関する社会の理解に向けて意識の普及や教育等の取組を推進していく必要があります。
- ・ このため、県の審議会等において、女性の割合が低い分野や委員の改選を迎えるものについては、女性人材に関する情報を伝達し、協議をするなど、女性委員の選任を働きかけていきます。また、市町に対して、こうした県の取組について情報を提供し、審議会等における女性委員の選任が進むよう働きかけていきます。
- ・ 県男女共同参画センター「フレンテみえ」において、「フレンテトーク」や「男女共同参画フォーラム」などの取組を通じて、市町や県内の学校等とも緊密に協力しながら、男女共同参画意識の普及等を図ります。

○主な指標

<Ⅱ－Ⅰ 政策・方針決定過程への男女共同参画の推進>

「県・市町の審議会等における女性委員の割合」は、平成23年度の24.7%からは増加していますが、実施計画の現状値である令和元年度の28.1%から、令和3年度は28.4%とほぼ横ばいの状況です。

県・市町の審議会等における女性委員の割合

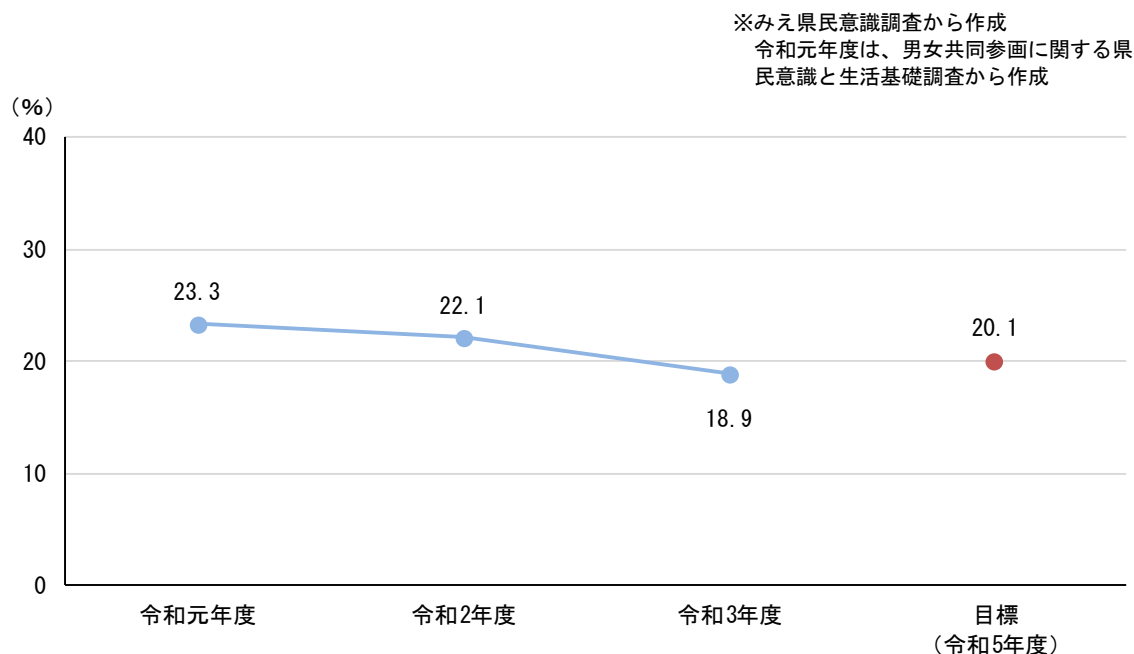


※「第2次三重県男女共同参画基本計画 第一期実施計画」において目標として定めている指標については、平成23年度及び平成29年度分からのデータを掲載しています。

＜Ⅱ－Ⅱ 男女共同参画に関する意識の普及と教育の推進＞

「性別による固定的な役割分担意識を持つ県民の割合」は、実施計画の現状値である令和元年度の23.3%から、令和3年度は18.9%まで減少しています。

性別による固定的な役割分担意識を持つ県民の割合



(3) 基本方向Ⅲ 誰もが安心して暮らせる環境の実現

○令和3年度の主な取組

- ・性の多様性に関する理解促進のため、企業向けに、ガイドブック「性の多様性を認め合い、誰もが働きやすい職場づくりのために」を作成するとともに、研修を行いました。
- ・同性カップルなどが性的指向・性自認に関わらず、安心して暮らせるよう、「三重県パートナーシップ宣誓制度」の運用を令和3年9月から開始し、令和4年3月末時点で30組の宣誓がありました。
- ・毎年11月の「女性に対する暴力をなくす運動」期間にあわせて、三重県総合文化センターで女性への暴力防止のシンボルカラーを用いた「パープル・ライトアップ」を実施するとともに、男女共同参画センター「フレンテみえ」において「女性に対する暴力防止セミナー」を開催しました。
- ・性犯罪・性暴力の被害者のための総合的なワンストップ支援センターである「みえ性暴力被害者支援センター よりこ」にて電話やメール相談・SNS相談・面接・付添い支援等を行いました。(相談件数：637件)

○今後の取組方向

- ・性別、年齢、障がいの有無、国籍・文化的背景、性的指向・性自認などに関わらず、誰もが参画・活躍できるよう環境の整備等に取り組むとともに、家庭・地域における活動や健康づくりに向けた支援を推進していく必要があります。
- ・また、DVや性犯罪・性暴力をはじめとするあらゆる暴力等を許さない社会づくりに向けた啓発に取り組むとともに、被害を潜在化させず、被害者が適切な支援を受けられるよう、相談窓口の周知等を引き続き進める必要があります。
- ・このため、多様な性的指向・性自認に関する社会の理解促進に向けたイベント等の開催や「三重県パートナーシップ宣誓制度」の利用先の拡充等を図ります。
- ・また、コロナ禍で不安や困難を抱える女性の支援につなげるため、県男女共同参画センター「フレンテみえ」における相談体制の充実等に取り組めます。
- ・DV等の暴力を許さない意識の醸成に向けて、警察、市町、関係機関・団体等と連携し啓発等を継続して実施するとともに、相談窓口の周知・広報に取り組めます。さらに、性犯罪・性暴力被害者が安心して相談や必要な支援を受けることができるよう、「みえ性暴力被害者支援センター よりこ」の認知度向上等に取り組むとともに、関係機関との連携をさらに進めていきます。

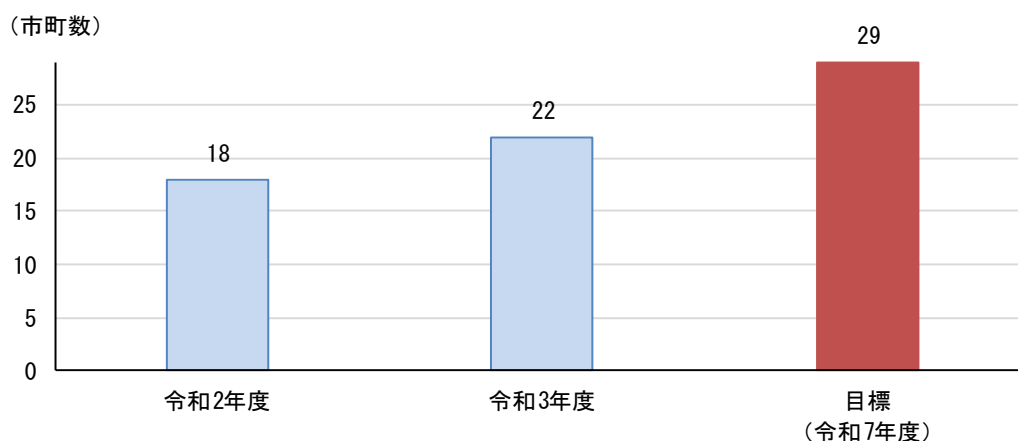
○主な指標

<Ⅲ－Ⅰ 多様な主体の参画・活躍に向けた支援と環境の整備>

「性の多様性に関する取組方針をもとに施策を推進する市町数」は、実施計画の現状値である令和2年度の18市町から、令和3年度は22市町に増加しています。

性の多様性に関する取組方針をもとに施策を推進する市町数

※環境生活部ダイバーシティ社会推進課調べ

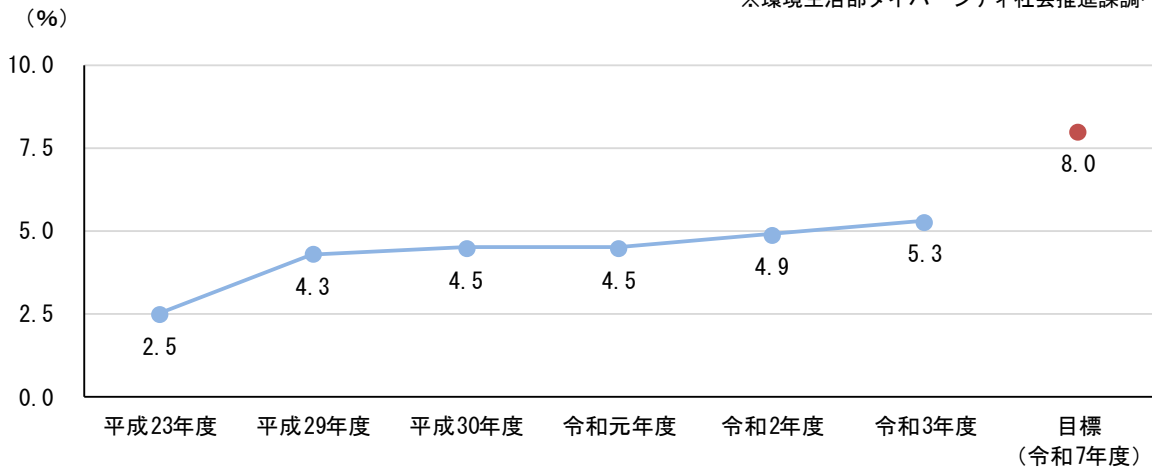


<Ⅲ－Ⅱ 家庭・地域における活動の推進と健康の支援>

「自治会長の女性割合」は、平成23年度の2.5%からは増加傾向であり、実施計画の現状値である令和元年度は4.5%、令和3年度は5.3%となっています。

自治会長の女性割合

※環境生活部ダイバーシティ社会推進課調べ

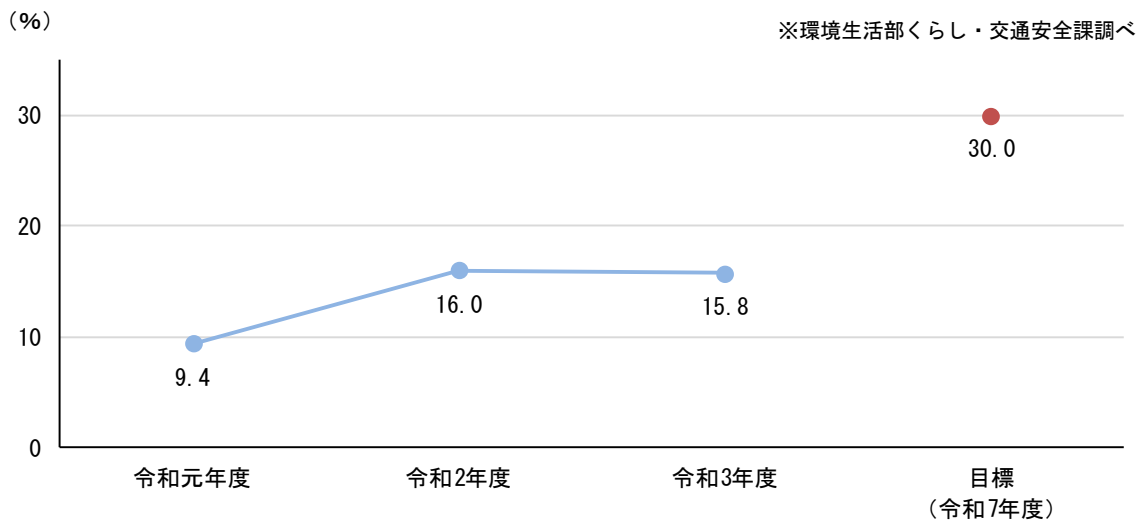


※「第2次三重県男女共同参画基本計画 第一期実施計画」において目標として定めている指標については、平成23年度及び平成29年度分からのデータを掲載しています。

<Ⅲ-Ⅲ 男女共同参画を阻害する暴力等に対する取組>

「みえ性暴力被害者支援センター よりこ」の認知度は、実施計画の現状値である令和元年度の9.4%から、令和3年度は15.8%に増加しています。

「みえ性暴力被害者支援センター よりこ」の認知度



2 事業実施概要

【基本方向】 I 職業生活における女性活躍の推進

【基本施策】 I-I 雇用等における女性活躍の推進

【施策の方向】 1 女性の参画拡大に向けた企業等への支援

事業	令和3年度事業実施概要	担当課
(1) 「女性の大活躍推進三重県会議」の運営を通じた県内の女性活躍推進の気運醸成	<ul style="list-style-type: none"> ・「女性の大活躍推進三重県会議」を主体とし、県内の事業所等における女性の活躍推進に向けた取組を支援する「みえの輝く女子プロジェクト」に引き続き取り組んだ。具体的には、企画委員会において企業の視点からの意見を伺いながら、①女性が活躍できる職場環境と風土づくり、②トップおよび男性の意識改革、③働く女性のモチベーション向上の3つの柱に沿った支援を行った。 ①女性が活躍できる職場環境と風土づくり UN Women（国連女性機関）が展開する「HeForShe」（女性の地位向上に男性の参加を呼びかける社会連帯運動）の趣旨の浸透を図るため、社内の「仕組み」を変えることで「行動」が変わり女性の活躍につながった取組事例を公募・顕彰する「チェンジ・デザイン・アワード2022」を実施した。 ②トップおよび男性の意識改革 「みえの輝く女子フォーラム2022」（令和4年2月2日開催）において、「女性が輝くことで未来が拓く～働きがい向上と企業力UPのため、すぐにはじめられること～」をテーマにした基調講演を開催した。 ③働く女性のモチベーション向上 県内企業等の具体的な行動を促すため、「子育てと仕事の両立」「女性の働きにくさ、男性の働きにくさ」「女性リーダーを育てる上司のあり方」「男性・女性の育休と復職」の4つのテーマに分かれ、各グループごとに意見交換を行った。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
情報誌の発行	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画センター「フレンテみえ」において、情報誌「Frente」を発行した。 年4回発行、各9,250部 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
女性活躍をテーマにした出前講座	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画センター「フレンテみえ」において、女性活躍推進法に基づく企業内での女性活躍をテーマにした出前講座「フレンテトーク」を県内自治体などに向けて実施した。 実施回数：77回、参加者数：5,781名 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
Facebookページを活用した情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな媒体を用いてわかりやすく広報・啓発を行うため、「女性の大活躍推進三重県会議」のFacebookページを活用して、フォーラム等の開催告知を行った。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画の策定支援	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の中小・小規模企業等を対象として、一般事業主行動計画の策定の支援に関する取組を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ①一般事業主行動計画策定セミナーおよび交流会の開催 第1回：19名参加、第2回：19名参加 ②女性活躍推進アドバイザーの派遣による計画策定支援 10社策定 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課

事業	令和3年度事業実施概要	担当課
<p>「働く女性のネットワーク三重」に関する取組</p> <p>(2) 「女性の活躍推進三重県会議」の加入促進</p> <p>女性の異業種間交流</p> <p>(3) 若手女性人材育成講座の開催</p>	<p>・男女共同参画センター「フレンテみえ」では、県内の働く女性で構成される「働く女性のネットワーク三重」の活動を支援した。</p> <p>・「女性の活躍推進三重県会議」への加入促進に取り組んだ結果、24団体の新規加入があり、会員数は550団体となった。 (令和4年3月31日現在)</p> <p>・新型コロナウイルス感染症の影響により、「みえ・花しょうぶサミット」の開催を中止した。</p> <p>・男女共同参画センター「フレンテみえ」において、これからの男女共同参画に必要な人材を育成する講座を実施し、参加者へ修了証を発行した。 <種まきプロジェクト“地域”編> 「“話し合い”を前にすすめるために ～自分も相手も大切にするコミュニケーションの方法～」 参加者数：延べ93名</p>	<p>環境生活部ダイバーシティ社会推進課</p> <p>環境生活部ダイバーシティ社会推進課</p> <p>雇用経済部雇用対策課</p> <p>環境生活部ダイバーシティ社会推進課</p>

【施策の方向】2 男性中心型労働慣行の見直しとワーク・ライフ・バランスの実現

事業	令和3年度事業実施概要	担当課
(1) 企業におけるワーク・ライフ・バランスの取組支援	<ul style="list-style-type: none"> 働き方改革に意欲的に取り組もうとする中小企業に、アドバイザーを派遣し、生産性の向上や労働環境改善の課題解決を図るとともに、事例発表や意見交換を行う共有会の開催など、企業における働き方改革の取組を推進した。 アドバイザー派遣：7社 	雇用経済部雇用対策課
県内事業所労働条件等実態調査	<ul style="list-style-type: none"> 県内事業所の実態を把握するため、県内事業所の労働条件や労働環境を調査した。 	雇用経済部雇用対策課
「三重の労働」の発行	<ul style="list-style-type: none"> 「三重の労働」を発行した。 発行回数：6回（県ホームページに掲載） 	雇用経済部雇用対策課
仕事と生活の調和推進のための環境整備	<ul style="list-style-type: none"> 企業が働き方改革に取り組むことの必要性について理解を深め、地域全体で働き方改革をさらに推進するためのセミナーを開催した。 開催日：令和3年9月2日（木） 参加者数：80名 開催日：令和4年2月8日（火） 参加者数：45名 	雇用経済部雇用対策課
企業表彰・認証の実施	<ul style="list-style-type: none"> ワーク・ライフ・バランスの推進などに取り組んでいる企業等を募集し、優れた取組を県内に広めることにより、地域社会全体での「働き方改革」の取組推進を図ることを目的に、「みえの働き方改革推進企業」登録・表彰制度を実施した。 ○登録企業126法人のうち、5法人を表彰 	雇用経済部雇用対策課
健康づくりへの取組推進	<ul style="list-style-type: none"> 「三重とこわか健康経営カンパニー」認定制度や「三重とこわか健康経営大賞」を通じて企業における健康経営の取組を促進した。 「三重とこわか健康経営カンパニー」認定企業：191社 	医療保健部健康推進課
(2) 「イクボス」の推進	<ul style="list-style-type: none"> 職場で共に働く部下の仕事と家庭の両立を応援する“イクボス”の取組や精神が広がり、女性の活躍や男性の育児参画が当たり前となる社会をめざすため、企業等に対し「みえのイクボス同盟」への加盟を呼びかけるとともに、加盟企業・団体に対して、メールマガジンで働き方改革や男性の育児休業取得促進など、国や県の取組に係る情報提供を行った。 同盟加盟数：770企業・団体（令和4年3月31日現在） 	子ども・福祉部少子化対策課
県庁における「ワーク・ライフ・マネジメント」の推進	<ul style="list-style-type: none"> 意識・組織風土改革の推進、ワーク・マネジメントの推進、ライフ・マネジメント支援の推進を重点方針として、時間外勤務の削減や年次有給休暇の取得促進等に労使協働で取り組んだ。 	総務部総務課

【施策の方向】3 誰もが能力を発揮できる環境の整備

事業	令和3年度事業実施概要	担当課
(1) DX人材育成研修事業の実施	・経営者等を対象とし、DXの推進により収益向上、業務革新、生産性向上等の成果に結びつけるための講座を実施した。	デジタル社会推進局 デジタル事業推進課
先進取組企業を紹介する事例集の配布	・「チェンジ・デザイン・アワード2022」に応募のあった14団体の取組を紹介する事例集を作成し、県のホームページに掲載した。	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
ポジティブ・アクション取組事例の紹介	・知事表彰（「みえの働き方改革推進企業」知事表彰）を受けた企業の取組事例をパンフレット等に掲載・配布し、周知啓発を行った。	雇用経済部雇用対策課
公共工事入札時の評価項目の継続実施	・公共工事の総合評価方式において、関係部局と調整し「男女共同参画」や「次世代育成支援」など企業の社会的責任等に係る取組を評価しており、継続評価を行うことで建設業界でもこのような取組を徐々に広げた。	県土整備部公共事業運営課
物件関係入札時の評価項目の継続実施	・物件関係（清掃、警備業務等）の総合評価一般競争入札において、「男女共同参画」や「次世代育成支援」など、企業の地域社会貢献度を評価項目として設定している。 令和3年度総合評価一般競争入札（清掃、警備業務）実施件数4件（WTO案件16件を除く）	出納局会計支援課
「女性が働きやすい医療機関」認証制度の実施	・医療機関の主体的な取組を通じて、勤務環境改善の取組を促進するため、「女性が働きやすい医療機関」認証制度に取り組んでいる。令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響による医療機関の負担等を考慮して募集を見送ったが、制度の周知を行った。	医療保健部医療介護人材課
病院内保育への支援	・県内の病院内保育施設における保育士の人件費の一部を助成した。 助成保育施設：25施設	医療保健部医療介護人材課
県立病院内保育所における保育サービスの提供	・看護師等の職業生活と家庭生活の両立を支援するため、こころの医療センターに設置している院内保育所において、保育サービス（夜間保育、延長保育、一時保育を含む）を提供した。	病院事業庁県立病院課
(2) 多様な勤務形態の検討・実施	・多様な働き方の取組として、在宅勤務、時差出勤勤務を実施した。	総務部人事課

事業	令和3年度事業実施概要	担当課
(3) ハラスメントのない職場づくりの促進	・男女共同参画センター「フレンテみえ」において、ハラスメントをテーマにした出前講座「フレンテトーク」を実施した。 実施回数：32回、参加者数：1,112名	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
労働相談の実施	・労働者や使用者から寄せられるさまざまな労働問題を解決するため、「三重県労働相談室」を設置し、専任の相談員がアドバイスをを行うとともに、専門的な相談には弁護士相談を実施した。 相談件数：1,134件	雇用経済部雇用対策課
セクシュアル・ハラスメントの防止	・セクシュアル・ハラスメントの防止を含めた服務規律の確保や不祥事防止について、新規採用職員研修や新任所属長研修等での周知徹底、ハラスメント相談窓口リーフレットの配布を行った。	総務部人事課
セクシュアル・ハラスメントの防止	・ハラスメント外部相談窓口を設置した。 相談方法：専門相談員が電話で対応 相談時間：月～金曜日12時～21時 土曜日 9時～17時	総務部人事課
セクシュアル・ハラスメントの防止	・セクシュアル・ハラスメントをはじめとする、あらゆるハラスメントのない職場に向けて、ハラスメント防止に関する研修会を開催した。 開催日：令和3年7月20日（火）～8月20日（金） 参加者数：148名（e-ラーニング） 対象者：新任班長・地域機関の新任課長等	総務部人事課
セクシュアル・ハラスメントの防止	・主に係長以上の職員向けに、ハラスメントのない良好な勤務環境を確保するための研修を実施した。 開催日：令和3年5月～令和4年2月 参加者数：92名（e-ラーニング）	総務部人事課
セクシュアル・ハラスメントの防止	・セクシュアル・ハラスメントに係る教職員の綱紀粛正および服務規律の確保について、市町等教育委員会や県立学校長等へ通知（2回）を行い、趣旨の徹底を図った。また、教職員向け「コンプライアンス・ハンドブック」を作成し、各県立学校のコンプライアンスに係る研修等で活用する等、セクシュアル・ハラスメントの防止を含めた服務規律の確保および不祥事の根絶について徹底した。	教育委員会事務局教職員課
セクシュアル・ハラスメントの防止	・初任者研修や年次別研修等をオンラインで実施し、セクシュアル・ハラスメント防止の周知徹底を図った。	教育委員会事務局教職員課
セクシュアル・ハラスメントの防止	・令和2年度に策定したハラスメントの防止等に関する基本方針を国の制度移行に併せて一部改正し、セクシュアル・ハラスメントをはじめとするあらゆるハラスメントの防止について職員に周知し徹底した。	教育委員会事務局教職員課

【施策の方向】 4 女性の再就職支援

事業	令和3年度事業実施概要	担当課
<p>(1) 女性の就労支援</p> <p>出産・育児等により退職した女性医師等に対する復帰支援</p> <p>出産・育児等により退職した潜在看護職員に対する就業相談・研修会の開催</p>	<p>・新型コロナウイルス感染症の影響や、子育て・介護等により離職し、再就職を希望する女性を対象に、再就職への不安や悩みを解消するとともに、スキルアップをサポートする研修等をオンラインにて実施した。</p> <p>また、おしごと広場みえに女性専用の相談窓口を設けており、令和3年度も就職相談を実施した。 スキルアップ研修申込者：延べ286名 企業との懇談会申込者：35名 面接セミナー申込者：42名 就職相談：延べ79名（おしごと広場みえ分を含む）</p> <p>・出産・育児等により退職した女性医師等に対する情報提供や、復帰に係る就労環境改善への支援などを行った。</p> <p>・潜在看護職員に対する就職相談、無料職業紹介、就職説明会の開催および復職に向けた実技研修を実施した。 就職相談：延べ12,740件 無料職業紹介・斡旋による就業者数：493名 実技研修の参加者数：25名</p>	<p>雇用経済部雇用対策課</p> <p>医療保健部医療介護人材課</p> <p>医療保健部医療介護人材課</p>
<p>(2) 能力開発への支援</p>	<p>・社会情勢の変化やニーズに対応した職業訓練の実施を進めるとともに、関係機関と連携し積極的にPR活動を行った。 〈津高等技術学校 普通職業訓練 短期課程〉 ホームコーデ科：5か月課程×4回 28名 （うち女性10名） 金属成形科：6か月課程×2回 8名（うち女性4名） 住宅サービス科：6か月課程×2回 9名 （うち女性6名） パソコンCAD科：6か月課程×2回 18名 （うち女性16名） オフィスビジネス科：6か月課程×2回 30名（うち女性22名） OA事務科：障がい者対象（1年課程） 4名（うち女性2名） 委託訓練：OA系、介護系、保育系、医療事務系等 48講座（3か月、2年） 499名（うち女性405名）</p>	<p>雇用経済部雇用対策課</p>

【基本施策】 I-II 自営業における女性活躍の推進

【施策の方向】 1 農林水産業における方針決定の場への女性の参画促進

事業	令和3年度事業実施概要	担当課
(1) 農山漁村のつどいの開催	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画センター「フレンテみえ」との共催で「第34回 農山漁村のつどい」を開催した。 「農山漁村の新たなつながりを見つけよう！～同業、異業種連携について考える～」というテーマでの講演を行うとともに農林水産品の展示・即売を実施した。 開催日：令和4年3月5日（土） 開催場所：男女共同参画センター「フレンテみえ」 参加者数：76名（うちオンライン参加17名） 	農林水産部担い手支援課、水産振興課、森林・林業経営課
農山漁村女性団体間の交流・連携を進め、女性の社会参画を共通の問題として提起	<ul style="list-style-type: none"> 関係団体代表（JAみえ女性連絡会議、漁協女性部連合会、酪農女性会議、畜産女性の会、農村女性アドバイザー、指導農業士会）とともに農山漁村のつどい実行委員会を開催し、男女共同参画推進のための企画を検討し、「第34回 農山漁村のつどい」を実施した。 	農林水産部担い手支援課、水産振興課、森林・林業経営課
(2) 女性農業委員選任の働きかけ	<ul style="list-style-type: none"> 農業委員会法の改正を機に、女性農業委員の選任を促した。令和3年度、4年度に改選を予定している8農業委員会事務局を訪問し、直接の働きかけを実施した。 	農林水産部担い手支援課
男女共同参画推進施策等の情報提供の実施	<ul style="list-style-type: none"> 農村女性アドバイザー全会員に発信される「アドバイザー通信」において男女共同参画の情報提供を行った。 啓発回数：1回 対象者数：108名 	農林水産部担い手支援課、水産振興課、森林・林業経営課
農漁協、森林組合の女性組合員数把握、自営業における女性従事者の経営参画促進	<ul style="list-style-type: none"> 農業・漁業協同組合、森林組合の正組合員の女性割合を把握し、公表した。 (正組合員における女性割合) 農業協同組合 22.1%（令和3年度） 漁業協同組合 7.7%（令和2年度が最新値） 森林組合 10.1%（令和元年度が最新値） 	農林水産部担い手支援課、水産振興課、森林・林業経営課

【施策の方向】 2 農林水産業における女性の能力発揮に向けた環境の整備

事業	令和3年度事業実施概要	担当課
(1) 農村女性起業活動への支援	<ul style="list-style-type: none"> 各地域において、女性起業家や起業希望者の経営管理能力向上、農産加工技術向上等を目的とした研修会等を開催した。 ※シリーズ開催は1回としてカウント 開催回数：5回 参加者数：延べ23名 	農林水産部担い手支援課
農業、漁業に従事する女性対象に、経営参画に向けた経営能力・生産技術等の向上を図る研修会	<ul style="list-style-type: none"> 経営能力向上をめざした雇用管理研修や栽培技術等の研修会を実施した。 開催回数：21回（農業） 参加者数：延べ152名（農業） 	農林水産部担い手支援課
農業、漁業に従事する女性対象に、経営参画に向けた経営能力・生産技術等の向上を図る研修会	<ul style="list-style-type: none"> 漁村女性アドバイザー等を対象とした研修会を2回開催することを計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。 	農林水産部水産振興課
家族従事者の働き方を学ぶ機会を提供	<ul style="list-style-type: none"> 普及組織による6次産業化研修を実施した。 開催回数：3回 参加者数：延べ13名 	農林水産部担い手支援課
スマート技術の情報提供	<ul style="list-style-type: none"> 普及組織の活動の中で、生産者に対してスマート技術※等に関する情報を提供した。 ※AIやロボットなどの先端技術 	農林水産部担い手支援課
(2) 畜産女子の取組	<ul style="list-style-type: none"> 畜産女子の活躍を促進するため、県内農業高校生に対する畜産への理解促進等を目的とした畜産女性ネットワークの取組を支援した。 県内農業高校生を対象とした出前授業：4回 	農林水産部畜産課
水産業に携わる女性の交流・連携、ネットワークの構築	<ul style="list-style-type: none"> 漁村女性アドバイザーが加入する三重県漁業士会の運営を行った。 漁村女性アドバイザー会員数：6名 	農林水産部水産振興課
農村・漁村女性アドバイザーの新規認定	<ul style="list-style-type: none"> 農村・漁村女性アドバイザーを新規に認定した。 農村女性アドバイザー：6名（計105名） 漁村女性アドバイザー：1名（計12名） 	農林水産部担い手支援課、水産振興課
アドバイザー研修の実施	<ul style="list-style-type: none"> 農村・漁村女性アドバイザー研修を実施した。 地域単位での研修等：6回（農村6回） 県内全地域を対象とした研修会：1回（農村1回） 	農林水産部担い手支援課、水産振興課

事業	令和3年度事業実施概要	担当課
(3) 家族経営協定締結 の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・経営改善計画策定、制度資金活用、ライフステージの変化等の機会を通じて、家族経営協定の締結を推進した。 令和3年度新規締結農家数：10戸（累計：409戸） 	農林水産部担い手支援課
酪農ヘルパー制度 の利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・農家への巡回、指導等の際に酪農ヘルパー制度の周知を行った。 	農林水産部畜産課

【施策の方向】 3 起業家等に対する支援

事業	令和3年度事業実施概要	担当課
<p>(1) 情報や研修機会の提供</p> <p>就農のための情報提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「TOKOWAKA-MIE REBORN PROGRAM」の開催（全8回）や女性起業家応援事業（全2回）などを通じて、起業に関する情報や研修機会を提供した。 ・農林水産支援センターと連携し、就農・就職フェアを開催した。 開催回数：1回 参加者数：55名（オンライン参加を含む） 	<p>デジタル社会推進局 デジタル事業推進課</p> <p>農林水産部担い手支援課</p>
<p>(2) 国等関係機関と連携した女性アスリートの発掘・育成・強化</p> <p>国等関係機関と連携した女性アスリートの発掘・育成・強化</p> <p>国等関係機関と連携した女性アスリートの発掘・育成・強化</p> <p>女性アスリートおよび指導者への研修会の開催</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「女性アスリートタレント発掘・育成事業～MIEスーパー☆（スター）プロジェクト～」女子ラグビー、自転車競技に種目特化したアスリートを発掘・育成する事業を実施した。 教育・育成プログラム：8回 キャンプ：2回 専門プログラム：ラグビー63回、自転車32回 ・オーディションを実施し、第6期生を認定した。（ラグビー3名、自転車2名） ・第3期生が3年間のプログラムを修了した。（ラグビー2名） ・女性アスリート、指導者および保護者等への研修会を年2回開催した。 	<p>地域連携部競技力向上対策課</p> <p>地域連携部競技力向上対策課</p> <p>地域連携部競技力向上対策課</p> <p>地域連携部競技力向上対策課</p>

【基本施策】 I-III 仕事と子育て・介護が両立できる環境整備の推進
 【施策の方向】 1 多様なニーズに対応した子育て支援

事業	令和3年度事業実施概要	担当課
(1) 待機児童解消に向けた市町の取組支援	<ul style="list-style-type: none"> 待機児童の解消に向けて、認定こども園等の整備や低年齢児保育充実のための保育士加配に取り組む市町に対して支援を行った。 低年齢児保育充実事業費補助金対象市町：14市町（112か所） 	子ども・福祉部少子化対策課
施設型・地域型給付による、幼児教育・保育の総合的な提供	<ul style="list-style-type: none"> 施設型給付（幼稚園・認定こども園・保育所）および地域型給付（小規模保育等）を行い、幼児教育・保育の総合的な提供を図った。 	子ども・福祉部少子化対策課
潜在保育士等への支援	<ul style="list-style-type: none"> 潜在保育士の現場復帰支援研修や就労相談および新任保育士の就業継続支援研修を実施した。 潜在保育士就労・職場復帰支援研修（WEB研修） 就労相談件数：581件 新任保育士就労継続支援研修 受講者数：169名 	子ども・福祉部少子化対策課
保育所等におけるICT化推進	<ul style="list-style-type: none"> 業務のICT化を推進することにより、保育士等の業務負担の軽減を図り、保育士等が働きやすい環境を整備した保育所等に補助を行った。 認可外保育施設実施施設数：47施設 	子ども・福祉部少子化対策課
(2) 多様な保育等への支援	<ul style="list-style-type: none"> 低年齢児保育、延長保育、一時保育、休日保育、病児保育等の多様なニーズに対応する取組への補助を行った。 延長保育実施数：276か所 （厚生労働省調査による令和2年実施数） 病児保育事業実施市町：25市町 （広域利用、ファミリー・サポート・センター含む） 	子ども・福祉部少子化対策課
子ども家庭相談・子ども医療ダイヤルの実施	<ul style="list-style-type: none"> 子どもに関する相談窓口として「子ども家庭相談電話」を実施するとともに、看護師等が対応する「小児夜間医療・健康電話相談（みえ子ども医療ダイヤル）」を実施した。 相談件数：8,571件 （子ども家庭相談電話：308件、医療ダイヤル：8,263件） 	医療保健部医療政策課、子ども・福祉部少子化対策課
預かり保育の支援	<ul style="list-style-type: none"> 預かり保育を実施している私立幼稚園等に対し、その経費の一部を助成した。 助成幼稚園数：13園 	子ども・福祉部少子化対策課
(3) 放課後児童クラブの設置・運営支援	<ul style="list-style-type: none"> 放課後児童クラブの設置・運営に係る経費の一部を助成した。 放課後児童クラブ数：438か所（令和3年5月1日現在） 	子ども・福祉部少子化対策課

事業	令和3年度事業実施概要	担当課
放課後児童クラブの設置・運営支援	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童クラブの指導員等を対象に研修を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ○放課後児童支援員県認定資格研修 開催回数：県内3会場 計12回 ○子育て支援員研修（地域保育コース・地域型保育） 開催回数：県内1会場 計6回 	子ども・福祉部少子化対策課
ファミリー・サポート・センターの設置促進	<ul style="list-style-type: none"> ・ファミリー・サポート・センターの運営に係る経費の一部を助成した。 実施市町数：28市町 助成市町数：21市町 	子ども・福祉部少子化対策課
地域子育て支援センターの運営支援	<ul style="list-style-type: none"> ・地域における子育て支援の中核となる地域子育て支援センターの運営を補助し、子育て家庭の交流、相談事業活動を行う市町を支援した。 実施市町数：29市町 助成対象数：126か所（29市町） 	子ども・福祉部少子化対策課
乳幼児を持つ家庭の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・「みえ家庭教育応援プラン」に基づき、市町やPTA安全互助会等と連携し、保護者同士のつながりを築き、孤立を防ぐことを目的とした「みえの親スマイルワーク」を開催した。 開催回数：13回 参加者数：299名 	子ども・福祉部少子化対策課
市町の児童相談体制支援と専門的支援	<ul style="list-style-type: none"> ・市町の児童相談対応力を強化するため、「児童相談体制及び専門性強化に向けた確認票」をツールとして、課題解決に向けて取り組むとともに、市町における子ども家庭総合支援拠点の設置促進に向けた協議を行った。 拠点設置市町数：18市町 	子ども・福祉部子育て支援課
市町の児童相談体制支援と専門的支援	<ul style="list-style-type: none"> ・各児童相談所において、心理職員や精神科医による、心理学的検査、精神医学上の判定など専門的な支援を行った。 	子ども・福祉部子育て支援課
保育士等からの相談に対応	<ul style="list-style-type: none"> ・総合教育センターにおいて保護者や保育士、幼稚園教諭からの相談に対応した。 相談延べ件数：286件 	教育委員会事務局研修企画・支援課

【施策の方向】 2 男性の育児参画の推進

事業	令和3年度事業実施概要	担当課
<p>(1) 普及啓発</p> <p>男性の育児参画</p>	<p>・男性の育児参画が大切であるという考え方が広まるよう、県内商業施設等において第8回ファザー・オブ・ザ・イヤーinみえの受賞作品を展示する写真展を計5回実施するとともに、男性の育児参画に関するハンドブック等を配布して啓発を行った。</p> <p>・男性の育児参画の促進に向けて「みえの育児男子プロジェクト」に関するさまざまな取組を実施した。</p> <p>○第8回ファザー・オブ・ザ・イヤーinみえ表彰式 日時：令和3年12月5日（日） 実施場所：トナリエ四日市 ※よっかいちステーションの男性の育児参画啓発イベント「FAMILY FESTA」と連携して実施</p> <p>応募総数：2,001件 内容：表彰式、受賞者紹介、受賞作品写真展</p> <p>○パートナーとともに行う育児ワークショップ 現在育児をしている男性や、これから父親になる予定の男性を対象に、男性の育児参画の質の向上を図るため、市町・企業との連携により計3回のワークショップを開催 参加者：65名</p> <p>○NEXT親世代ワークショップ 若い世代に男性の育児参画への理解を深めてもらうため、「SDGsを通じて男性の育児参画を考える」をテーマに、中学校（計2校、4クラス）で開催 参加者：132人</p>	<p>子ども・福祉部少子化対策課</p> <p>子ども・福祉部少子化対策課</p>
<p>(2) イクボスの推進</p> <p>イクボスの推進</p>	<p>・職員の仕事と家庭の両立を支援する組織風土を醸成するため、イクボスの推進に向けた取組を実施した。</p> <p>○全所属長のイクボス宣言の実施</p> <p>・「男性の子育てのための休暇・休業」の取得向上に向け、「男性職員の子育てのための休暇・休業取得促進プログラム」を実施した。</p>	<p>全部局、総務部人事課</p> <p>総務部人事課</p>

【施策の方向】3 介護を支援する環境の整備

事業	令和3年度事業実施概要	担当課
(1) 老人福祉施設等の整備	・老人福祉施設等の整備を支援した。 主な整備数：養護老人ホーム 2施設、100床	医療保健部長寿介護課
地域包括支援センター運営の支援	・地域包括支援センターに係る研修会を開催した。 開催回数：4回	医療保健部長寿介護課
地域包括支援センター運営の支援	・地域ケア会議へ専門家を派遣した。 派遣人数：延べ8名	医療保健部長寿介護課
軽費老人ホーム等の運営支援	・居宅で生活が困難な高齢者が、低額な料金で安心して生活を送ることができるよう、軽費老人ホーム等35施設に対し運営費助成を行った。	医療保健部長寿介護課
介護予防に係る取組の支援	・介護予防に係る市町ヒアリングを実施した。 実施回数：29回	医療保健部長寿介護課
(2) ホームページでの情報提供	・県のホームページにおいて、介護保険制度の仕組みなど高齢者福祉・介護保険に関するさまざまな情報を提供した。	医療保健部長寿介護課
介護保険制度の運営に係る研修	・①要介護認定調査員、②介護認定審査会、③要介護認定適正化に関する研修会を開催した。 開催回数：計4回（①2回、②2回、③0回）	医療保健部長寿介護課
介護サービス等に関する相談	・三重県国民健康保険団体連合会等が介護サービス利用者や家族等からの相談、苦情に対応した。	医療保健部長寿介護課
介護保険相談・苦情・事故発生時の対応マニュアルの配布	・介護サービスに関する相談・苦情があったときや、事故が発生したときの対応マニュアルを全ての介護サービス事業所、保険者（市町等）に配付し、介護サービスの質の向上を図るための情報を共有した。	医療保健部長寿介護課

【基本方向】Ⅱ 男女共同参画を推進するための基盤の整備

【基本施策】Ⅱ-I 政策・方針決定過程への男女共同参画の推進

【施策の方向】1 県の審議会等委員への女性の参画

事業	令和3年度事業実施概要	担当課
<p>(1) 審議会等における女性委員の選任</p> <p>(2) 審議会等における女性委員の選任に向けた各部局の取組</p> <p>人材リストの提供</p>	<p>・「男女共同参画の視点で進める三重県附属機関等への委員選任基本要綱」に基づき、県の各附属機関の委員構成において、女性委員の割合が委員総数の40%以上、60%以下となることをめざし、各部局へ働きかけを行った。 女性委員の割合が委員総数の40%以上、60%以下となる構成の附属機関の割合：63.0%（令和3年4月1日現在） （目標：令和7年4月1日までに70.7%とする） 女性委員のいない附属機関：0機関 （目標：女性委員のいない附属機関は解消を図る）</p> <p>・各部局において、「男女共同参画の視点で進める三重県附属機関等への委員選任基本要綱」に基づき、取組を進めた。また、女性委員の割合が委員総数の40%未満となる場合には、環境生活部へ事前協議を行い、女性委員の割合を高めるための方策を検討した。</p> <p>・県の附属機関の委員候補となる女性人材の情報を掲載した「アイリス人材リスト」を活用し、各部局における附属機関等への女性委員の選任を支援した。</p>	<p>環境生活部ダイバーシティ社会推進課</p> <p>全部局</p> <p>環境生活部ダイバーシティ社会推進課</p>

【施策の方向】 2 県における女性職員等の登用

事業	令和3年度事業実施概要	担当課
(1) 女性職員の採用	<ul style="list-style-type: none"> 県職員の業務を説明する「三重県庁おしごとセミナー」等において、仕事と家庭の両立等をテーマに職員による講演を行ったり、職員から直接話を聞く機会を設けたりしたほか、三重県職員採用案内パンフレットやホームページにおいて、育児休業経験者の経験談や次世代育成支援制度の紹介の記事を掲載するなど、男女共に働きやすい環境をアピールした。 説明会参加者数 令和3年12月開催（オンライン）207名 令和4年3月開催（対面およびオンライン）延べ975名 	人事委員会事務局
女性職員の採用	<ul style="list-style-type: none"> 少人数制（1班10名程度）の職場見学や職員との懇談を内容とする「三重県職員ガイダンス」を開催し、職場の雰囲気を感じていただくとともに、男女が共に参画して働くことができる職場であることを周知した。 令和4年2月 15班開催（オンライン） 参加者数：延べ140名 	人事委員会事務局
女性活躍推進のための特定事業主行動計画に関する取組	<ul style="list-style-type: none"> 女性職員活躍推進のための特定事業主行動計画に管理職への女性職員登用率の目標を掲げるとともに、「女性登用の推進」を人事異動方針の項目に掲げ、取り組んだ。 管理職への女性職員登用率：12.1% （令和3年4月時点、教員および警察職員を除く県職員） 	総務部人事課
女性活躍推進のための特定事業主行動計画に関する取組	<ul style="list-style-type: none"> 女性活躍推進法に係る特定事業主行動計画（後期計画）を策定し、取り組んだ（計画年度 令和3年度～令和7年度）。将来的な管理職への登用につなげるため、管理職前段階における女性職員の登用に取り組んだ。 課長補佐、班長、地域機関の課長等に占める女性職員の割合：14.4% （令和3年4月時点、教員および警察職員を除く県職員） 	総務部人事課
女性活躍推進のための特定事業主行動計画に関する取組	<ul style="list-style-type: none"> 「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」に基づき、女性の職業選択に資する情報を公表した。 	総務部人事課
女性活躍推進のための特定事業主行動計画に関する取組	<ul style="list-style-type: none"> 「仕事と介護の両立支援制度」のチラシを配布した。 	総務部人事課
女性教職員の登用	<ul style="list-style-type: none"> 女性活躍推進法に係る特定事業主行動計画に基づき、管理職に占める女性職員の割合を高める方針を明確にし、取組の実施状況等について公表した。 	教育委員会事務局教職員課

事業	令和3年度事業実施概要	担当課
女性教職員の登用	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、「令和2年度小中学校・義務教育学校教職員人事異動実施要領」および「県立学校教職員人事異動実施要領」の中に、「女性の意欲と能力を重視する」と記載するとともに、教頭任用候補者選考においては、校長推薦枠を「男女各2名以内、ただし女性は3名まで推薦可」と明示した。 	教育委員会事務局教職員課
女性教職員の登用	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校にあつては市町等教育委員会に、県立学校にあつては県立学校長に、それぞれこの趣旨を伝え、管理職選考試験の女性教職員の受験を奨励するとともに、主任等への積極的な登用を依頼した。 <ul style="list-style-type: none"> ○新たに管理職に登用した女性の割合 小中学校：26.2%、県立学校20.5% ○管理職に占める女性の割合 小中学校：26.1%、県立学校：15.5% ○令和3年度実施の管理職選考試験受験者に占める女性の割合 小中学校：31.5%、県立学校：29.3% 	教育委員会事務局教職員課
女性活躍推進のための特定事業主行動計画に関する取組	<ul style="list-style-type: none"> 「三重県警察における次世代育成支援と女性活躍推進のための取組計画」に「令和7年4月1日時点で、全警部に占める女性警察官の割合を6%以上および全警部補に占める女性警察官の割合を8%以上にする。」目標を掲げるとともに、達成に向けて、引き続き女性警察官の職域拡大に取り組んだ。 <ul style="list-style-type: none"> ○全警部および全警部補に占める女性警察官の割合 (令和4年4月1日現在) 警部：4.2% 警部補：7.4% 	警察本部警務部警務課
女性活躍推進のための特定事業主行動計画に関する取組	<ul style="list-style-type: none"> 警部補および巡査部長に昇任予定の女性警察官を対象に、キャリアアップに対する不安の解消を図ることを目的とした研修を実施した。 対象者：女性警察官21名 	警察本部警務部警務課
(2) 女性職員の活躍につながる研修の実施	<ul style="list-style-type: none"> 採用5年目の必修研修において、仕事と家庭の両面からキャリア形成を考えるための研修を実施した。 開催日：令和3年9月28日(火)～令和3年10月29日(金) 参加者数：73名(e-ラーニング) 	総務部人事課
多様な現場や職務経験の機会付与	<ul style="list-style-type: none"> 新規採用後8～10年の間に、県政に対する幅広い視野の育成を図るとともに、子育て等によりキャリアの中断が生じても、その後のキャリアデザインを前向きに描けるよう、多様な現場や職務を経験させることを意識した配置を行った。 	総務部人事課
管理職に対する研修の実施	<ul style="list-style-type: none"> 新任所属長研修において、所属職員の人材育成およびマネジメント能力等の向上を図る研修を実施した。 開催日：令和3年9月7日(火)～令和3年10月14日(木) 参加者数：101名(e-ラーニング) 	総務部人事課
職員研修の実施	<ul style="list-style-type: none"> 人権尊重の視点に立った行政の推進を図るため、本庁職員を対象に、10月～12月にかけて動画視聴により人権研修を実施した。 研修会参加者数：2,692名 	総務部行財政改革推進課、環境生活部人権課

【施策の方向】 3 市町等への働きかけ

事業	令和3年度事業実施概要	担当課
(1) 市町における男女共同参画推進の支援	<ul style="list-style-type: none"> 市町の取組に活用できる情報の提供等により、市町における男女共同参画の推進を支援した。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
市町の職員を対象にした研修等の実施	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画センター「フレンテみえ」において、市町の職員を対象に出前講座「フレンテトーク」を実施した。 実施回数：17回、参加者数：452名 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
フレンテトーク等の実施	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画センター「フレンテみえ」において、出前講座「フレンテトーク」等を実施した。 実施回数：86回（フレンテトーク 77回、ウェルカムフレンテトーク 9回） 参加者数：5,924名 対象：市町、団体、企業等 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
企業への情報提供・企業の取組紹介	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画センター「フレンテみえ」において、企業登録制度に登録する企業へ年6回、男女共同参画に関する情報提供を行った。また、「男女共同参画フォーラム～みえの男女（ひと）2022～」で、9企業の取組をパネルで紹介した。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
(2) 「三重県女性の参画マップ」の作成	<ul style="list-style-type: none"> 「三重県女性の参画マップ」を作成、ホームページで公表し、県内市町の審議会等における女性の参画状況の見える化を図った。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
政治分野における女性の参画状況に関するパネル展示の実施	<ul style="list-style-type: none"> 総務省「地方公共団体の議会の議員及び長の所属党派別人員調」を基に、県内の政治分野における女性の参画状況に関するパネルを作成し、展示を行った。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課

【基本施策】II-II 男女共同参画に関する意識の普及と教育の推進
 【施策の方向】1 男女共同参画に関する広報・啓発の充実

事業	令和3年度事業実施概要	担当課
(1) 報道機関への情報提供	・報道機関等に対して、県の男女共同参画や性の多様性に関する事業について情報提供を行った。 報道機関への情報提供数：58件	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
条例の周知	・「性の多様性を認め合い、誰もが安心して暮らせる三重県づくり条例」を周知するためのリーフレットを作成し、県内各所へ配付した。 作成部数：7,000部 配付先：市町、経済団体、教育機関等 また、県広報誌等に特集記事や相談窓口の情報を掲載するなどの広報を行った。	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
県民への啓発とニーズの把握	・男女共同参画センター「フレンテみえ」において、事業を通して13,007名の参加があり、男女共同参画について啓発するとともに、アンケート等によりニーズの把握に努めた。	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
教材の提供	・男女共同参画センター「フレンテみえ」において、啓発パネル「ジェンダー感・チェックリスト“若者”編」を作成し、これまでに作成したパネルもあわせて貸出を行った。	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
「男女共同参画週間」における広報	・「男女共同参画週間（6月23日～29日）」について、三重県総合文化センター男女共同参画棟のエントランスホールにおいて、6月末までの期間、同週間にちなんだパネル展示を実施した。また同週間中は、県庁において、庁内放送による啓発もあわせて実施した。	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
「女性に対する暴力をなくす運動」期間における啓発	・「女性に対する暴力をなくす運動（11月12日～25日）」期間にあわせて、男女共同参画センター「フレンテみえ」との共催で「女性に対する暴力防止セミナー」を開催した。	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
差別をなくす強調月間	・「差別をなくす強調月間（11月11日～12月10日）」にテレビスポットを放映、街頭啓発を実施した。	環境生活部人権センター
インターネット人権モニター事業	・インターネット上の差別事象の流布状況の調査研究、モニタリングを実施した。また、インターネット人権ソーシャルウォッチャー養成講座は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施だが、市町や市町教育委員会単位でのネットモニタリングの取組推進のため、「ネットモニタリングガイドブック」を制作・配布した。	環境生活部人権センター
県の広報・出版物への男女共同参画視点の導入	・県の広報・出版物について、男女共同参画の視点に立った表現となるよう庁内関係課からの相談に応じて助言した。	環境生活部ダイバーシティ社会推進課

事業	令和3年度事業実施概要	担当課
(2) UN Women（国連女性機関）と連携した「HeForShe」の趣旨の浸透	<ul style="list-style-type: none"> ・UN Women（国連女性機関）が展開する「HeForShe」（女性の地位向上に男性の参加を呼びかける社会連帯運動）の趣旨の浸透を図るため、社内の「仕組み」を変えることで「行動」が変わり女性の活躍につながった取組事例を公募・顕彰する「チェンジ・デザイン・アワード2022」を実施した。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
国、県、市町、企業、団体等の取組の発信	<ul style="list-style-type: none"> ・国、県、市町、企業、団体等の情報や取組を収集し、「女性の活躍推進三重県会議」会員企業への情報提供を行うとともに、同会議のFacebookページによる発信等をあわせて行った。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
(3) 啓発資料の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・性の多様性に関する啓発冊子を購入し、研修会等で配布した。 配布部数：1,000部 	環境生活部人権センター
人権文化のまちづくり創造事業	<ul style="list-style-type: none"> ・住民等が主体となった研修会に講師等を派遣した。（実践行動につなげる人権のまちづくり研修支援事業） 研修会等の開催回数：35回 	環境生活部人権課
映画上映等の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画を考えるメッセージを発信し、意識を啓発するため、男女共同参画センター「フレンテみえ」と県内市町男女共同参画センターおよび市町と連携して「三重県内男女共同参画連携映画祭2021」を開催した。 開催回数：7回 参加者数：940名 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課

【施策の方向】 2 学校等における教育の推進

事業	令和3年度事業実施概要	担当課
(1) 人権保育専門講座	・保育士等を対象に人権保育専門講座を実施した。 受講者数：延べ467名	子ども・福祉部少子化対策課
私立学校での人権教育推進	・人権教育推進担当者の活動の条件整備や、教職員人権教育研修および人権教育推進協議会等の運営、人権を考える児童・生徒の集いなどの事業を推進する私立学校に対して、その経費の一部を助成した。 助成学校数：15校	環境生活部私学課
教職員向け研修	・講師を招聘し、男女共同参画に係る講義や質疑応答形式等により研修を深めた。	教育委員会事務局高校教育課、小中学校教育課
教職員向け研修	・各学校において文部科学省や県教育委員会が作成したリーフレット、DVD等や、校外の研修会資料を活用し、研修を実施した。	教育委員会事務局高校教育課、小中学校教育課
教職員向け研修	・教職員が男女共同参画社会の実現や女性の人権について理解を深めるための研修講座を開催した。	教育委員会事務局人権教育課
男女共同参画研修	・インターネットを活用した研修（「ネットDE研修」）において、県内の教職員を対象に男女共同参画に関する研修を実施した。 4講座 受講者数：24名	教育委員会事務局研修推進課
多様な性の在り方についての教職員研修講座を実施	・子どもも教職員も自分らしく安心して過ごせる学校づくりと、多様性を認め合う社会づくりを進めるための授業や学校での取組について学ぶ研修講座を実施した。 （研修講座）「誰もが自分らしく生きられる社会へ -多様な性の在り方-」 （実施日時）令和3年8月20日（金） （zoomによる遠隔研修） （対象）県内教職員（保育士等を含む） （講師）一般社団法人ELLY代表理事 山口 颯一 氏 その他、ダイバーシティ社会推進課作成「多様な性のあり方を知り、行動するための職員ガイドライン」を、インターネットを活用した研修（「ネットDE研修」）において配信、研修講座内で紹介するなど、県内教職員への周知を図っている。	教育委員会事務局研修推進課
保護者等と連携した研修	・各学校において、研修の充実を図るとともに、保護者や地域等に男女共同参画についての意識を高める取組を実施した。	教育委員会事務局高校教育課、小中学校教育課、特別支援教育課

事業	令和3年度事業実施概要	担当課
(2) 人権学習指導資料等の活用促進	・女性の人権に係わる問題を解決するための学習や男女共同参画社会に関わる学習を推進するため、人権学習指導資料の紹介や効果的な活用方法の提案を行った。	教育委員会事務局人権教育課
メディア・リテラシーを高める教育	・偏見や差別を助長・誘発する情報やメディアにおける人権侵害につながる表現の問題性について考えるため、人権学習指導資料の活用を促進した。	教育委員会事務局人権教育課
取組状況調査	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画に係る取組状況調査を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ○男女共同参画に係る校(園)内研修を実施している学校(幼稚園を含む)の割合 24校/57校→42.1% (県立高等学校) 18校/18校→100% (特別支援学校) 86.9% (公立小中学校および園) ○教科等に男女共同参画の視点を位置づけて指導した学校(幼稚園を含む)の割合 75.4% (県立高等学校) 100% (特別支援学校) 98.8% (公立小中学校および園) 	教育委員会事務局高校教育課、小中学校教育課、特別支援教育課
高等学校教育での推進	・家庭科では男女が協力して家庭を築くことの認識について、公民科では職業生活や社会参加における男女共同参画について、それぞれ学習を進めた。	教育委員会事務局高校教育課
学校における人権教育の推進	・県立学校において、子どもが在籍中に性的指向・性自認に係る人権課題に対する学習が行われるよう指導を行うとともに、教職員が性の多様性について理解を深められるよう、学校における研修を支援した。	教育委員会事務局人権教育課
(3) 高等学校教育での推進	・総合的な探究の時間や特別活動を中心に、生徒のキャリア発達を促し、生徒自身の適性や将来設計に基づいた主体的な進路選択の在り方について学習を進めた。	教育委員会事務局高校教育課
高等学校教育での推進	・社会人講師や卒業生等、外部人材の活用を推進し、小学生から高校生まで発達段階に応じた組織的・系統的なキャリア教育の充実を図った。	教育委員会事務局高校教育課、小中学校教育課、特別支援教育課
高等学校教育での推進	<ul style="list-style-type: none"> ・女子中高生が理系進路の魅力を知り、理系に進もうという意思を高めることを目指した「女子中高生夏の学校～科学・技術・人との出会い～」(NPO法人女子中高生理工系キャリアパスプロジェクト主催)について、令和2年度は開催されなかったが、令和3年度は開催され、周知した。 (参考) 県立高等学校における女子生徒の理数系高等教育機関への進学予定者数 令和2年度 1,186名→令和3年度 1,083名 	教育委員会事務局高校教育課

【施策の方向】 3 生涯を通じた学習機会の充実

事業	令和3年度事業実施概要	担当課
(1) 社会教育推進のための研修	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育委員、社会教育主事など社会教育に関わる職員や団体の指導者等に対する研修会を実施した。 開催回数：27回、参加者数：871名 	教育委員会事務局 社会教育・文化財保護課
地域人権啓発事業	<ul style="list-style-type: none"> ・各地域防災総合事務所・地域活性化局が中心となってミニ人権講座、行政機関等のトップセミナー、講演会などを実施した。 参加者数：1,307名 	環境生活部人権センター
(2) 地域で活躍できる人材育成講座	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画センター「フレンテみえ」において、男女共同参画の視点を持った人材を育成する講座を開催した。 <ul style="list-style-type: none"> 〈種まきプロジェクト“地域”編〉 「“話し合い”を前にすすめるために ～自分も相手も大切にするコミュニケーションの方法～」 参加者数：延べ93名 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
女性一人ひとりの力を引き出す講座	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画センター「フレンテみえ」において、女性一人ひとりの力を引き出す講座を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> 〈自己尊重感を高める講座〉 「理想の母親／今の私」 参加者数：延べ40名 「女性のための自分を好きになるトレーニング」 参加者数：延べ120名 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課

【基本方向】Ⅲ 誰もが安心して暮らせる環境の実現

【基本施策】Ⅲ-I 多様な主体の参画・活躍に向けた支援と環境の整備

【施策の方向】1 自立のための支援

事業	令和3年度事業実施概要	担当課
(1) 在宅障がい児 (者)支援	・在宅の障がい児(者)を支援し、介護者の負担軽減を図るため、居宅介護、生活介護、短期入所、児童発達支援、放課後等デイサービス等の経費を支給した市町に対し費用の一部を負担した。	子ども・福祉部障がい福祉課
障がい者の環境改善支援	・障がい者の地域移行を進めるため、グループホームや日中活動の場の整備に取り組むとともに、重度障がい者等が円滑に地域移行できるよう生活支援を行った。	子ども・福祉部障がい福祉課
障がい者の就労支援	・障害者総合支援法に基づく就労移行支援事業所等を指定した。 就労継続支援B型事業所：8か所	子ども・福祉部障がい福祉課
広域的・専門的な障がい者の相談支援	・県内9障害保健福祉圏域に設置している障がい者就業・生活支援センターにおいて広域的な相談支援を実施するとともに、自閉症・発達障がい、高次脳機能障がい、重症心身障がいに関する専門的な相談支援を実施した。 相談登録者数：9,146名(令和4年3月31日現在)	子ども・福祉部障がい福祉課
障がい者の就労支援	・共同受注窓口事業により事業所等の受注の機会を確保し、ECサイトの活用や営業担当コーディネーターの配置などを通して受注の拡充に取り組むとともに、工賃向上計画支援事業により工賃向上研修やコンサルタント派遣などを実施することで、工賃等向上を図り、障がい者の就労を支援した。 例年実施している県庁舎における職場実習事業は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。	子ども・福祉部障がい福祉課
障がい者の環境改善支援	・在宅の重度障がい者(児)に対し、浴槽、特殊寝台などの日常生活用具の給付事業を実施する市町に補助を行った。	子ども・福祉部障がい福祉課
障がい者に対する職業訓練の提供	・障がい者の就職を促進するため、就業を目的とした職業訓練を委託実施し、職業訓練の機会を提供した。 受講者数：61名(うち前年度からの繰越9名)	雇用経済部雇用対策課
障がい者に対する職業訓練の提供	・身体障がい者を対象にOA事務等に関する職業訓練を実施し、就業を支援した。 受講者数：4名	雇用経済部雇用対策課
早期からの一貫した教育支援体制整備	・障がいのある子どもたちへの支援が早期から行われ、学校間で支援情報が引き継がれるよう、小中学校におけるパーソナルファイルの活用状況を把握し、市町等教育委員会と連携して、学校へ活用を働きかけた。 特別支援学級においてパーソナルファイルを活用している小中学校の割合：99.2%	教育委員会事務局特別支援教育課

事業	令和3年度事業実施概要	担当課
特別支援学校卒業生の就労支援	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学校の生徒が企業へ就労できるよう、生徒本人に適した職種・業務と必要な支援の方法を企業に提案する形の職場開拓を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ○外部人材として、特別支援学校にキャリア教育サポーター（4名）を配置 ○企業訪問数（1,321回） ○就労支援会議（5回） ○特別支援学校高等部生徒の一般企業就職希望者就職率（100%） 	教育委員会事務局特別支援教育課
(2) おしごと広場みえ運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ・若年者に対し、職業相談、職業紹介等のサービスをワンストップで提供した。 利用者数：8,312名 	雇用経済部雇用対策課
高年齢者の雇用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・シルバー人材センターの機能充実に向けた支援に取り組むとともに、関係機関と連携し、就職面接会を県内で2回開催するなど、高年齢者の雇用促進を図った。 参加者数：111名 	雇用経済部雇用対策課
高齢者の活動支援	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が健康で生きがいを持った生活を送るため、ボランティア活動などの地域貢献活動を行う老人クラブおよび県・市町老人クラブ連合会の活動を支援した。 助成対象老人クラブ数：1,130か所 	医療保健部長寿介護課
高齢者の活動支援	<ul style="list-style-type: none"> ・役割がある形での高齢者の社会参加等を促進するため、「就労的活動支援コーディネーター（就労的活動支援員）」の養成研修を開催した。 研修会：1回 	医療保健部長寿介護課
ライフプラン、生活設計等についての情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・金融広報委員会と共催するなど、ライフプラン、生活設計等について情報提供するとともに、消費者被害の防止に向けた普及啓発を行う講座等を10回実施した。 参加者数：延べ171名 	環境生活部くらし・交通安全課
ライフプラン、生活設計等についての情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者トラブル等に関する情報提供については、新型コロナウイルス感染症関連等をテーマに新たに開設した消費者啓発専用WebサイトやSNSも含めたさまざまな情報媒体を活用して、必要な情報提供を実施した。 	環境生活部くらし・交通安全課
(3) ひきこもる若者の自立支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ひきこもりの予防や長期化の防止に向け、専門相談や家族教室の実施、関係機関職員の研修会を開催した。また、関係機関支援ネットワークの構築に取り組んだ。 支援者スキルアップ研修会：2回 講演会：1回 	医療保健部健康推進課

事業	令和3年度事業実施概要	担当課
児童養護施設入所児童等への相談援助	・児童養護施設入所児童に対し、児童相談所と施設が協議しながら自立支援の視点に立った指導の充実を図った。	子ども・福祉部子育て支援課
児童養護施設入所児童等への相談援助	・児童養護施設、母子生活支援施設等に心理療法職員を配置し、入所児童等の心のケアを行った。	子ども・福祉部子育て支援課
若年無業者等の自立支援 (4)	・若年無業者等を対象に、NPO等が運営する地域若者サポートステーション（県内4か所）を活用し、就労体験事業や社会体験事業等を実施した。 新規登録者数：340名	雇用経済部雇用対策課
(4) 母子・父子自立支援員の配置	・母子・父子自立支援員を各福祉事務所に配置し、母子父子家庭および寡婦等からの相談に応じ、自立に必要な支援を実施した。	子ども・福祉部子育て支援課
資金の貸付	・母子家庭の母、父子家庭の父および寡婦等に対し、経済的安定と生活意欲の助長を図るとともに、扶養している児童の福祉を増進するため、資金の貸付を実施した。 貸付件数：241件	子ども・福祉部子育て支援課
家庭生活支援員の派遣	・修学等自立促進に必要な事由、疾病等の事由により一時的に生活援助、保育等のサービスが必要であったり、あるいは生活環境の激変により日常生活を営むのに支障が生じているひとり親家庭等に対して、家庭生活支援員の派遣を実施する市町を支援した。	子ども・福祉部子育て支援課
ひとり親家庭の自立支援	・「ひとり親家庭等自立促進計画」に基づいて、母子・父子家庭に対する相談支援体制、医療費の助成などの経済的支援策、養育費の確保策等の総合的な生活支援を推進し、ひとり親家庭等の自立を支援した。	医療保健部国民健康保険課、子ども・福祉部子育て支援課
生活困窮者への相談支援・就労支援	・三重県生活相談支援センターにおいて、生活困窮者への相談支援を行うとともに、就労支援を行った。 新規相談件数：335件 活動・電話相談延べ回数：1,359回 就労者数：17名	子ども・福祉部地域福祉課
住居確保給付金の支給	・離職等により経済的に困窮し、住居喪失者又は住居喪失のおそれのある者で収入・資産など一定の要件を満たす者について、住居確保給付金の支給を行った。 支給件数：7件	子ども・福祉部地域福祉課
県営住宅の優先募集	・母子・父子世帯、DV被害者、高齢者世帯等の生活の安定のため、県営住宅の入居抽選にあたって、優先的取扱いを行った。 令和3年度は30戸の優先入居枠を設けた。	県土整備部住宅政策課

【施策の方向】 2 多様な主体の参画・活躍に向けた環境の整備

事業	令和3年度事業実施概要	担当課
(1) ダイバーシティ社会の推進	<ul style="list-style-type: none"> ダイバーシティみえ推進方針に基づき、その考え方の浸透を図るワークショップをオンラインで4回実施した。 また、県内高等教育機関と連携し、ダイバーシティに関する講座を5機関で10回実施した。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
(2) バリアフリー化の推進 各地域庁舎以外の県有施設での「三重県ユニバーサルデザインのまちづくり推進条例」整備基準による対策	<ul style="list-style-type: none"> 既設県営住宅のバリアフリー化のため、白塚団地において高齢者仕様の住戸改善工事を行った。 施設管理者と調整するとともに、条例の規定による手続きを行い、整備基準に適合する施設整備を行った。また、手続きが不要な場合であっても、整備基準を参考に施設整備を行った。 	県土整備部住宅政策課 県土整備部営繕課
バリアフリー化の推進	<ul style="list-style-type: none"> 住宅相談窓口担当者等講習会を1回開催し、市町のリフォーム相談担当者のスキルアップを図った。 開催日：令和3年12月15日 開催場所：三重県総合文化センター 参加者数：38名 	県土整備部住宅政策課
居住安定に向けた支援	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者向け、子育て世帯向けの優良な賃貸住宅に係るセーフティネット制度等について、不動産関係団体等を対象とした賃貸住宅経営者セミナー（参加者数110名）においてチラシを活用し周知した。 	県土整備部住宅政策課
居住安定に向けた支援	<ul style="list-style-type: none"> 市町に対しては、三重県地域住宅協議会を2回開催し、国からの情報提供や市町居住支援協議会設立に向けた説明を行った。 	県土整備部住宅政策課
バリアフリー観光の推進	<ul style="list-style-type: none"> 観光施設等のバリアフリー及び外国語対応調査とアドバイスを5施設で実施するとともに、地域内の観光関係者を広く対象としたバリアフリーの観光地づくり研修を1地域で実施した。これに加え、観光施設のバリアフリー推進企画として、バリアフリー改修により集客アップに成功した老舗旅館の見学を含む「地域の取組みからみる つながるバリアフリー観光研修」を1地域で実施した。 	雇用経済部観光政策課
県立学校施設整備	<ul style="list-style-type: none"> 県立学校のバリアフリー化推進のため、手すりの設置(1校)、スロープ設置(1校)、トイレ改修(洋式化改修(18校)・多機能トイレの新設(1校))等を実施した。 	教育委員会事務局学校経理・施設課
地域で育むユニバーサルデザイン学校出前授業の実施	<ul style="list-style-type: none"> ユニバーサルデザインの意識づくりを進めるため、さまざまな主体と連携し、次世代を担う子どもたちに対し学校出前授業を実施した。 対象校：小・中・高等学校 開催数：18校 参加者数：1,185名 	子ども・福祉部地域福祉課

事業	令和3年度事業実施概要	担当課
「三重おもいやり駐車場利用証制度」の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・身体に障がいのある方や妊産婦などで、歩行が困難な方の外出を支援するため、公共施設や商業施設などにある「おもいやり駐車場」の利用証を交付する「三重おもいやり駐車場利用証制度」の普及啓発を実施した。 利用証交付者数：112,200名（うち妊産婦46,223名） 「おもいやり駐車場」登録届出数：2,186施設 4,489区画（令和4年3月31日現在） 	子ども・福祉部地域福祉課
施設整備者への啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・県有施設がよりユニバーサルデザインに配慮され、誰もが利用しやすい施設となるよう、施設のバリアフリー情報を県HPへ掲載するとともに、令和2年度に作成した「県有施設のためのユニバーサルデザイン（UD）ガイドライン」の啓発動画を作成し、公開した。 	子ども・福祉部地域福祉課
(3) 多文化共生啓発事業	<ul style="list-style-type: none"> ・日本人と外国人の相互理解を促進し、多文化共生に関する意識の醸成を図るため、ワークショップにおいて日本人と外国人が共に意見を出し合い、県内で活躍する外国人住民を紹介するドキュメンタリー映画「Crossroad～クロスロード～／交差点」を制作、上映した。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
多文化共生社会実現への取組	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人住民の地域社会への参加・参画を進めるため、外国人住民が生活していく上で必要となる基本的な生活・行政情報および外国人住民に知っておいてほしい情報等を多言語ホームページ（ポルトガル語、スペイン語、フィリピン語、中国語、英語、ベトナム語、日本語）で、外国人住民のニーズに合った形で迅速に提供（文字情報68件）した。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
多文化共生社会実現への取組	<ul style="list-style-type: none"> ・医療通訳を育成するための研修を5言語（ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語、中国語、フィリピン語）で実施（5回、参加者数延べ196名）した。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
多文化共生社会実現への取組	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人住民のキーパーソンを対象にした外国人防災リーダーの育成研修（参加者数延べ29名）や、避難所における外国人避難者受入訓練（参加者数31名）などを開催した。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
多文化共生社会実現への取組	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人住民の消費者被害防止のための研修会を開催（参加者数87名）した。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課

事業	令和3年度事業実施概要	担当課
(4) 多様な性に関する理解の促進	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度性の多様性について知るトークイベント“トランスジェンダーのドキュメンタリー映画から知る”を実施した。 開催日：令和3年11月24日（水） オンライン開催 参加者数：102名 <ul style="list-style-type: none"> ドキュメンタリー映画 「I Am Here～私たちはともに生きている～」鑑賞 ゲストの三橋順子氏（性社会・文化史研究者）、浅沼智也氏（映画監督）によるトーク 質疑応答 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
多様な性に関する理解の促進	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画センター「フレンテみえ」において、LGBTをテーマにした出前講座「フレンテトーク」を実施した。 実施回数：9回、参加者数：1,757名 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
多様な性に関する理解の促進	<ul style="list-style-type: none"> 事業者等において、性のあり方にかかわらず、誰もが安心して働くことができる職場環境づくりを進めるための参考となるよう、「企業向けガイドブック」を作成するとともに、企業向け研修（オンライン）を実施した。 作成部数：1,500部 配布先：経済団体、市町、配布を希望する県内企業・事業所等 研修参加者数：50名 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
県民人権講座	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会場での講座開催を中止し、「性の多様性を考えた行動を！～三重県条例とその背景～」と題した講座の動画をホームページに掲載した。 	環境生活部人権センター
多様な性に関する理解の促進	<ul style="list-style-type: none"> 性の多様性に関する県の取組や情報発信のため、県職員向けにメールマガジンを4回発行した。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
多様な性に関する理解の促進	<ul style="list-style-type: none"> 性の多様性に関する条例の施行やパートナーシップ宣誓制度の開始をふまえ、職員向けガイドラインを改訂し、周知を行った。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
性的指向および性自認に関わらず県職員が安心して働ける制度の整備	<ul style="list-style-type: none"> 「三重県パートナーシップ宣誓制度」運用開始をふまえ、性的指向および性自認にかかわらず、職員が安心して働くことができる制度となるよう、休暇制度の取り扱いを改正した。 	総務部人事課
企業表彰・認証の実施	<ul style="list-style-type: none"> ワーク・ライフ・バランスの推進などに取り組んでいる企業等を募集し、優れた取組を県内に広めることにより、地域社会全体での「働き方改革」の取組推進を図ることを目的に、「みえの働き方改革推進企業」登録・表彰制度を実施した。 ○登録企業126法人のうち、5法人を表彰 	雇用経済部雇用対策課

事業	令和3年度事業実施概要	担当課
<p>多様な性に関する理解の促進</p>	<p>・性の多様性に関する県の相談窓口「みえにじいる相談」を設置し、電話相談（令和3年4月から月2回）、SNS相談（令和3年10月から月2回）を実施した。 また、性の多様性に関する支援を考える「LGBT講座」を実施した。</p> <p>○令和4年1月22日（土） テーマ「LGBTユースの今」 「LGBTと法律相談 ～法的支援の最前線から考える～」 参加者数：30名</p> <p>○令和4年1月29日（土） テーマ「性の多様性に配慮した相談援助とは」 「性別違和と精神医療～精神疾患を抱えた当事者への支援～」 参加者数：36名</p>	<p>環境生活部ダイバーシティ社会推進課</p>
<p>(5) 誰もが安心して暮らせる環境づくりの推進</p>	<p>・令和3年9月から三重県パートナーシップ宣誓制度の運用を開始し、県広報誌や、性の多様性に関する啓発イベント等を通じて、制度の周知を行った。 また、公正証書や遺言に関することなど、当事者カップルの方々の生活に役立つ情報を掲載した冊子（みえにじいるハンドブック）を作成した。 作成部数：1,200部 配付先：市町、地域庁舎等</p>	<p>環境生活部ダイバーシティ社会推進課</p>
<p>県立学校の施設改修</p>	<p>・県立学校長寿命化計画に基づき、トイレの洋式化改修（18校）に併せて、性別により利用者を限定せず、誰でも利用できるトイレ（みんなのトイレ）を4校に整備した。</p>	<p>教育委員会事務局学校経理・施設課</p>
<p>校則の見直し</p>	<p>・LGBT等の当事者である生徒が、制服を選ぶ時や着用する際に辛い思いをしないよう、県立学校の校則では制服の男女規定をなくし、生徒が制服を自由に選択できるようになった。 県立学校の校則については、今後も各校で継続して点検し、時勢に合わない校則がある場合には、児童生徒、保護者、地域等の声を把握したうえで、積極的に見直しを行う。</p>	<p>教育委員会事務局生徒指導課</p>

【施策の方向】 3 女性をはじめ多様な人々の視点に立った防災・減災活動の推進

事業	令和3年度事業実施概要	担当課
<p>(1) 防災分野での政策・方針決定過程への女性参画拡大、防災関連計画への男女共同参画視点の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> 三重県防災会議の女性職員数の増加に向け、任期満了等に伴う新たな委員の選任にあたっては役職・肩書等にこだわらず女性を積極的に推薦いただけるよう各関係機関に対して文書で依頼するとともに、同会議幹事会においても改めて同様の依頼を行った。 令和3年度における女性委員数は、前年度の8名から1名増の9名となった。 	<p>防災対策部防災企画・地域支援課</p>
<p>消防団活性化促進事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> 基本団員としての活動のほか、高齢者宅を訪問しての火災予防活動や、住民を対象とした応急手当講習等、幅広い分野で活躍する女性消防団員の入団促進に向け、県内全市町の消防団長や担当者と意見交換を実施した。 	<p>防災対策部消防・保安課</p>
<p>自主防災組織リーダーの育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> 県内の自主防災組織の中核を担う人材が、防災に関する基礎知識や消防団との連携をはじめ、男女共同参画の視点等組織の運営に必要な知識を身につけることにより、地域防災力を向上させることを目的として「自主防災組織リーダー研修」を開催した。 受講者数(延べ人数)：オンライン研修73名 	<p>防災対策部防災企画・地域支援課</p>
<p>女性防災人材の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「三重県・三重大学 みえ防災・減災センター」の人材育成事業において、市町および地域、企業の防災対策における意思決定や防災活動、災害時の活動を担い得る女性防災人材の育成を図った。令和3年度は、これまでに育成した専門職を持つ防災人材を対象に、オンラインによるフォローアップ防災研修を実施した。 【講座概要】 〈女性を中心とした専門職防災研修〉 受講者数：オンライン研修修了者23名(うち女性20名) 	<p>防災対策部防災企画・地域支援課</p>
<p>(2) 「避難所運営マニュアル策定指針」の水平展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画の視点を取り入れた避難所運営や、避難所における障がい者、外国人への配慮等について記載した「三重県避難所運営マニュアル策定指針」を改訂し、「女性への配慮」の項を設けて避難所において女性への配慮が必要な項目等をまとめて掲載するよう修正を行った。 また、各市町を訪問して改訂した「三重県避難所運営マニュアル策定指針」の内容を説明することにより周知を図った。 	<p>防災対策部防災企画・地域支援課</p>

【基本施策】Ⅲ-Ⅱ 家庭・地域における活動の推進と健康の支援
 【施策の方向】1 家庭、地域、職場におけるバランスのとれた生活への支援

事業	令和3年度事業実施概要	担当課
(1) 家庭の日の取組	・関係機関と連携し、家庭の日の啓発等を行った。	子ども・福祉部少子化対策課
ワーク・ライフ・バランスを考える機会の提供	・男女共同参画センター「フレンテみえ」において、ワーク・ライフ・バランスをテーマにした出前講座「フレンテトーク」を実施した。 実施回数：6回、参加者数：831名	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
貸付制度の運用	・育児・介護休業取得者に対する貸付制度を運用した。	雇用経済部雇用対策課
認知症に関する相談窓口の設置	・三重県認知症コールセンターを設置した。 相談件数：495件	医療保健部長寿介護課
多様な環境教育の場や機会の提供	・環境分野の取組に男女が共に参画できるよう、環境学習情報センター等を拠点に、環境講座、体験学習、環境学習指導者の養成等を実施した。 参加者数：17,561名	環境生活部地球温暖化対策課
男女共同参画の視点をふまえ多様な主体と連携した観光振興施策の展開	・平成28年3月に立ち上げた行政機関、観光関係団体、交通事業者や農林商工業関係団体等で構成する「みえ観光の産業化推進委員会」において、「観光の産業化」の推進、日本版DMOに対する支援、戦略的な観光宣伝活動等に取り組んだ。	雇用経済部観光誘客推進課
みえ次世代育成応援ネットワーク事業の拡充	・次世代育成支援の具体的な取組を進めるため、みえ次世代育成応援ネットワークの会員企業・団体の拡大を図った。 会員数：1,592企業・団体（令和4年3月31日現在）	子ども・福祉部少子化対策課
みえ次世代育成応援ネットワーク事業の拡充	・「みえ次世代育成応援ネットワーク」会員同士の交流を活発化させ、会員の持つリソースを結びつけて子育て支援の取組につなげられないか検討するため、オンライン交流会を10回開催した。	子ども・福祉部少子化対策課
(2) 自治会等の取組への支援	・男女共同参画センター「フレンテみえ」において、自治会等からの相談を受け、それぞれに合ったテーマの出前講座「フレンテトーク」を実施した。 実施回数：1回、参加者数：20名	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
県民と連携・協働した男女共同参画推進の取組	・例年、男女共同参画センター「フレンテみえ」において、「フレンテまつり」で県民と連携・協働した事業を開催し、男女共同参画に関する理解の促進や意識の普及を図っていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、特設サイトを作成し「フレンテまつり2021オンラインwithジェンダー城のナゾ! 2」を開催した。 開催期間：令和3年6月23日（水）～9月30日（木） 参加者数：2,404名	環境生活部ダイバーシティ社会推進課

事業	令和3年度事業実施概要	担当課
<p>(3) ボランティア活動の促進</p> <p>情報誌の発行・ネットワーク化の支援</p> <p>情報誌の発行・ネットワーク化の支援</p>	<p>・県ボランティアセンターにおいて、ボランティア活動に関する情報提供およびボランティアコーディネーター養成研修を実施した。</p> <p>〈ボランティアセンターメールマガジンの配信〉 登録者数：199名 配信回数：12回</p> <p>〈養成研修〉 1. 「ボランティア概論」 2. 「ボランティアコーディネーション概論」 3. 「オンラインファシリテーション・基礎」 4. 「オンラインファシリテーション・実践ステップ1」 5. 「オンラインファシリテーション・実践ステップ2」 上記5つの研修を受け、養成した人数：17名 (上記講座の延べ受講者数：144名)</p> <p>・市民活動・ボランティアニュースを発行（年4回）するとともに、NPO等の活動やネットワーク化の支援を行った。</p> <p>・中間支援組織と連携し、コロナ禍だからこそ、NPOがつながりをつくり、課題解決に資する提案を検討して発表するため、協創シンポジウムを開催するなど、NPO活動の展開を図るとともに、団体間のネットワーク化の促進に取り組んだ。</p> <p>○協創シンポジウム 開催日：令和3年12月18日（土） 開催方法：オンライン会議 参加者数：30名</p>	<p>子ども・福祉部地域福祉課</p> <p>環境生活部ダイバーシティ社会推進課</p> <p>環境生活部ダイバーシティ社会推進課</p>

【施策の方向】 2 生涯にわたる健康の管理・保持・増進の支援

事業	令和3年度事業実施概要	担当課
(1) 健康づくりへの取組推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県民の健康づくりを社会全体で応援する環境づくりを進めるため、「三重とこわか健康マイレージ事業」を実施し、一定のポイントを獲得した方に「三重とこわか健康応援カード」を発行した。 「三重とこわか健康応援カード」発行枚数：5,240名 	医療保健部健康推進課
地域での取組実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 9月の健康増進普及月間や9月7日の県民健康の日にあわせて、「県政だよりみえ」において健康づくりについて啓発するとともに、県立図書館や本庁舎・地域庁舎におけるポスターの掲示やパンフレットの配布を行った。 	医療保健部健康推進課
地域での取組実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「健康野菜たっぷり料理グランプリ」を開催し、野菜への関心を高め、今より多く野菜料理を食べることの啓発を行った。また、40～50歳代女性を対象にした糖尿病予防事業として、関係団体と連携し、アンケート調査をふまえて啓発動画を作成した。 「健康野菜たっぷり料理グランプリ」応募作品数：201点 	医療保健部健康推進課
地域での取組実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「いい歯の日(11月8日)」および「8020推進月間(11月)」にあわせて、啓発チラシ・歯ブラシを配布し、歯科口腔保健の重要性の啓発を行った。 	医療保健部健康推進課
みえの健康指標の策定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康づくり事業を進めるうえで重要な保健医療情報である「みえの健康指標」を県のホームページに掲載した。 	医療保健部健康推進課
自殺対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自殺対策強化月間および自殺予防週間にあわせてポスター展示やパンフレットの配布を行った。また市町担当者等の人材育成研修を実施するとともに、コロナ禍において拡充した自殺予防電話相談の対応時間を引き続き実施した。さらに、若者を重点的な対象として、身近なツールであるSNSを活用した相談窓口の設置や、若者の視点を反映した啓発活動など効果的な自殺対策の強化に取り組んだ。 	医療保健部健康推進課
(2) がん検診受診率向上に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ がん征圧月間(9月)などの機会をとらえ、がん検診受診率向上を図るため、ポスターの掲示や啓発リーフレットの配布などによる啓発を行った。また、協定締結企業との連携により啓発に係る取組を行った。 	医療保健部医療政策課
医療機関情報の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・ 三重県広域災害・救急医療情報システム「医療ネットみえ」により、県内医療機関情報を提供した。 令和3年度「医療ネットみえ」アクセス件数：611,025件 	医療保健部医療政策課

事業	令和3年度事業実施概要	担当課
(3) 総合型地域スポーツクラブの育成支援	・総合型地域スポーツクラブの育成支援を実施した。 令和4年3月31日現在のクラブ数：27市町66クラブ	地域連携部スポーツ推進課
みえスポーツフェスティバルの開催	・県民に幅広いスポーツ・レクリエーション活動を実践する場をつくり、スポーツ・レクリエーション活動の普及・振興を図るため、「みえスポーツフェスティバル」を開催した。 参加者数：7,347名	地域連携部スポーツ推進課
県立学校体育施設の一般開放	・県立学校において施設を一般に開放した。 開放校数：61校 利用件数：4,966件 利用者数：64,141名	教育委員会事務局保健体育課

【施策の方向】 3 性と生殖に関する健康支援の充実

事業	令和3年度事業実施概要	担当課
(1) 思春期健康支援	・各保健所で思春期のこころと身体に関する電話相談を実施するとともに、学校等関係機関と協議し、健康教育を実施した。	子ども・福祉部子育て支援課
思春期健康支援	・SNSによる「三重県DV・妊娠SOS・性暴力相談」を実施した。 相談件数：DV 118件、妊娠SOS 256件、性暴力 154件 合計528件	子ども・福祉部子育て支援課
性に関する指導支援事業	・県立学校に産婦人科医や助産師等の専門家を派遣し、学校や生徒の実態に応じ、性に関する課題解決のための講話や講演等を行った。 派遣回数：10回	教育委員会事務局保健体育課
(2) 母子保健支援者育成事業	・各市町の母子保健体制の核となる人材として「母子保健コーディネーター」の育成を行った。 育成数：33名（累計227名）	子ども・福祉部子育て支援課
周産期医療体制の整備	・総合周産期母子医療センター2か所と、地域周産期母子医療センター3か所を中核に周産期医療を提供した。	医療保健部医療政策課
へき地等で勤務する医師および小児科、産婦人科などの医師確保	・三重県医師修学資金貸与制度の運用を通じて、小児科、産婦人科など医師の不足する診療科の医師およびへき地等で勤務する医師の確保に努めた。 新規修学資金貸与者：41名	医療保健部医療介護人材課
看護職員の確保および定着促進	・看護学生に対する修学資金の貸与等により看護職員の確保に努めるとともに、院内保育所の設置支援、新卒看護職員研修会の開催など、看護職員の定着促進の取組を進めた。 看護師等修学資金新規貸与者数：16名 新卒看護職員研修会の開催：6回 新卒助産師研修会の開催：4回	医療保健部医療介護人材課
(3) 不妊専門相談センター	・「不妊専門相談センター」において不妊および不育症に関する電話相談を実施した。 相談件数：291件	子ども・福祉部子育て支援課
不妊相談検討会	・不妊に関する各分野の代表で構成する「不妊相談検討会」において、不妊相談の効果的な実施および今後のあり方について検討するとともに、関係諸機関とも協議を重ね円滑な連携に努めた。 検討会実施回数：1回	子ども・福祉部子育て支援課
特定不妊治療費助成事業の実施	・特定不妊治療（体外受精・顕微授精）を受けた夫婦に対してその費用の一部を助成した。 助成件数：4,048件	子ども・福祉部子育て支援課

【基本施策】Ⅲ-Ⅲ 男女共同参画を阻害する暴力等に対する取組
 【施策の方向】1 関係機関の連携による支援体制等の整備

事業	令和3年度事業実施概要	担当課
(1) 連絡協議会の開催 民間の被害者支援団体と連携した支援の実施 三重県犯罪被害者等支援推進計画の推進 三重県犯罪被害者等見舞金の給付	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の相談機関により構成される「三重県犯罪被害者支援連絡協議会実務担当者会議」を開催し、関係機関の活動紹介や事例研究を通じて支援機関相互の連携強化に努めた。 ・犯罪被害者支援のための民間団体「公益社団法人みえ犯罪被害者総合支援センター」と連携し、被害者やその家族に対する支援業務を推進するとともに、三重県犯罪被害者支援連絡協議会を通じて関係機関・団体との意見交換を実施した。 ・市町等とのブロック別意見交換会や令和2年度に作成した「三重県犯罪被害者等支援ハンドブック」を活用した市町等職員の支援対応力向上のための研修会を開催した(延べ88名受講)。また、広く県民に犯罪被害者等の置かれている状況について理解促進を図るため、伊勢市と共催で「犯罪被害者支援を考える集い」を開催した。 ・「三重県犯罪被害者等支援条例」をふまえて創設した三重県犯罪被害者等見舞金制度に基づき、遺族見舞金2件、重傷病見舞金7件、精神療養見舞金2件を給付した。 	警察本部警務部警務課 警察本部警務部警務課 環境生活部くらし・交通安全課 環境生活部くらし・交通安全課
(2) 女性に対する暴力防止セミナーと啓発の実施 女性に対する暴力防止セミナーと啓発の実施 相談窓口や各種支援制度に関する情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・県民に向けた啓発をするため、「女性に対する暴力防止セミナー」として講演会等を実施した。 開催日：令和3年11月23日(火・祝) 内容：「これからの男の子たちへ」 参加者数：94名 ・「女性に対する暴力をなくす運動」期間に内閣府の呼びかけで行われる「パープル・ライトアップ」を実施した。同時に県内市町男女共同参画センター、市町へ啓発を呼びかけた。 開催日：令和3年11月11日(木)～28日(日) 参加者数：601名 ・各種広報誌やポスター・パンフレットのほか、インターネット(SNS)など、さまざまな媒体を活用して相談窓口の利用促進や各種支援制度に関する情報提供を行った。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課 環境生活部ダイバーシティ社会推進課 子ども・福祉部子育て支援課、環境生活部ダイバーシティ社会推進課、くらし・交通安全課
広報啓発活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・「県警だより」に犯罪被害者の支援に関する記事を掲載したほか、犯罪被害を考える集い等さまざまな機会を通じた広報・啓発活動を推進した。 〈犯罪被害を考える集い〉 開催日：令和3年11月27日(土) 場所：伊勢市 	警察本部警務部警務課
広報啓発活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・「女性に対する暴力をなくす運動」期間中、県警ホームページおよびツイッターを活用し、ストーカー・DV被害の早期相談等について広く県民に広報したほか、交番・駐在所の広報紙を活用して相談窓口を紹介するなど、広報啓発活動を実施した。 	警察本部生活安全部 人身安全対策課

事業	令和3年度事業実施概要	担当課
(3) 二次被害の防止	<ul style="list-style-type: none"> 被害者支援要員や捜査員に対し、各種専科教養等において、犯罪被害者等の現状などを踏まえた教養を実施し、二次被害防止に対する意識の向上に努めた。 実施回数：12回 受講者数：245名 	警察本部警務部警務課
みえ地域人権相談ネットワーク構築事業	<ul style="list-style-type: none"> 県内NPOおよび各行政機関等の相談員による相談体制の充実ならびに民間・行政のコーディネート体制を充実し、人権に配慮した相談体制の充実が図れるよう、研修会を開催した。 10講座開催、参加者数：405名 	環境生活部人権センター
加害者への対応・被害者保護	<ul style="list-style-type: none"> 加害者への対応として、検挙等の措置を講じたほか、被害者保護として、「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律」に基づく援助等の行政措置を実施した。 傷害等での検挙：116件 法に基づく援助措置：223件 (令和3年中) 	警察本部生活安全部 人身安全対策課
犯罪被害者等の支援のための研修	<ul style="list-style-type: none"> 犯罪被害者等支援に従事する者が犯罪被害者等に寄り添った支援を提供できるよう、犯罪被害者等支援従事者の対応力（知識・技能）を習得・向上させるための研修会を開催した。（88名受講） 	環境生活部くらし・交通安全課
(4) アンケート調査の実施	<ul style="list-style-type: none"> 女性に対する暴力防止セミナーで参加者アンケートを実施し、DVに関する現状把握に努めた。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
加害者更正プログラムに係る情報把握	<ul style="list-style-type: none"> 国および他都道府県の動向の把握に努めた。 	子ども・福祉部子育て支援課
(5) 人権センターでの相談	<ul style="list-style-type: none"> 人権センターにおいて、セクシュアル・ハラスメントの問題を含む、さまざまな人権問題についての相談に対応するため、相談窓口を設置し、電話や面接による相談を実施した。 	環境生活部人権センター
人権相談ネットワーク会議の開催	<ul style="list-style-type: none"> 18の行政関係相談機関により、人権相談に係る意見、情報の交換や連絡調整など連携を図った。 開催回数：1回 	環境生活部人権センター
教職員対象の研修	<ul style="list-style-type: none"> 初任者等がライフ・ワーク・バランス（生活と仕事の調和）についての理解を深めるため、男女共同参画に関する研修講座をインターネットを活用した「ネットDE研修」で配信した。 	教育委員会事務局研修推進課
児童生徒・教職員等対象の教育相談	<ul style="list-style-type: none"> 総合教育センターにおいて、児童生徒や教職員、保護者を対象としたセクシュアル・ハラスメントに関する電話相談窓口を運営した。 	教育委員会事務局研修企画・支援課
セクシュアル・ハラスメントの防止	<p>令和2年度に策定したハラスメントの防止等に関する基本方針を国の制度移行にあわせて一部改正し、セクシュアル・ハラスメントをはじめとするあらゆるハラスメントの防止について職員に周知・徹底した。</p>	教育委員会事務局教職員課

【施策の方向】 2 配偶者等からの暴力の防止に係る対策の推進

事業	令和3年度事業実施概要	担当課
(1) 配偶者暴力相談支援センター事業	<ul style="list-style-type: none"> 女性相談所を配偶者暴力相談支援センターとして位置づけ、関係機関と連携し、総合的な支援を実施するとともに心理判定員や精神科医師などの専門職員による心のケアを実施した。 相談件数：442件 	子ども・福祉部子育て支援課
配偶者暴力相談支援センター事業	<ul style="list-style-type: none"> SNSを活用した「三重県DV・妊娠SOS・性暴力相談」を実施した。 相談件数：DV 118件、妊娠SOS 256件、性暴力 154件 合計528件 	子ども・福祉部子育て支援課
女性相談員の配置	<ul style="list-style-type: none"> 女性相談所、各福祉事務所に女性相談員を8名配置し、身近に相談できる体制を整備した。 	子ども・福祉部子育て支援課
一時保護の実施	<ul style="list-style-type: none"> 一時保護を実施するとともに、母子生活支援施設等へ一時保護を委託した。 一時保護実施人数：実人員33名（本人） 施設等への一時保護委託人数：実人員23名（本人） 	子ども・福祉部子育て支援課
外国籍DV被害者に対する支援	<ul style="list-style-type: none"> 女性相談所において電話通訳を利用するなど外国籍DV被害者への迅速な相談支援を行った。 	子ども・福祉部子育て支援課
DV防止基本計画の推進	<ul style="list-style-type: none"> 平成18年3月に策定した「三重県DV防止及び被害者保護・支援基本計画」（令和2年3月改定）に基づき、取組を実施した。 （取組内容） ○DVチェック・相談機関案内を記載した啓発物品を配布 ポケットティッシュ：10,000個（窓口設置等） ○街頭啓発活動：県内46か所 県福祉事務所：4か所 市町：29か所 ハローワーク：9か所 おしごと広場 男女共同参画センター「フレンテみえ」 県立図書館 ボランティアセンター 	子ども・福祉部子育て支援課
(2) DV被害者への自立支援	<ul style="list-style-type: none"> 三重県母子・父子福祉センターにおいて、就業相談や職業紹介、資格・技術取得講座開設などの就業支援を実施した。また、各福祉事務所に配置された女性相談員や母子・父子自立支援員が、生活相談や自立に向けた資金貸付などの支援を行った。 	子ども・福祉部子育て支援課
配偶者からの暴力防止等連絡会議を開催	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関相互の情報共有、連携を図るために「配偶者からの暴力防止等連絡会議」を開催した。 [構成機関] 警察本部、地方法務局、家庭裁判所、福祉事務所、母子生活支援施設協議会、医師会、歯科医師会、男女共同参画センター「フレンテみえ」、人権センター等 開催回数：1回 	子ども・福祉部子育て支援課

事業	令和3年度事業実施概要	担当課
地域配偶者等暴力防止会議の設置	<ul style="list-style-type: none"> 地域の関係機関の連携のため、「地域配偶者等暴力防止会議」を開催した。 開催回数：6回 北勢：2回 多気度会：2回 紀北：1回 書面：1回 	子ども・福祉部子育て支援課
相談員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> 県内の女性相談員等の資質向上を図るため、研修会を開催した。 開催回数：2回 	子ども・福祉部子育て支援課
相談員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> 県市福祉事務所等の新任女性相談員に対する研修会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施だが、資料配布のみ実施した。 開催回数：1回 	子ども・福祉部子育て支援課
人権センターでの相談	<ul style="list-style-type: none"> 人権センターの人権相談においてDVに関する相談を受け付けているが、令和3年度はDVに関する相談はなかった。 	環境生活部人権センター
配偶者からの暴力防止等連絡会議等への出席	<ul style="list-style-type: none"> 「配偶者からの暴力防止等連絡会議」等に参加し、関係機関と情報の共有・交換を実施した。 	警察本部生活安全部 人身安全対策課
(3) 県女性相談所と各児童相談所の連携強化	<ul style="list-style-type: none"> 会議等において情報共有を図るなど連携を強化し、総合的な支援を実施した。 県女性相談所と児童相談所との連携：4件 	子ども・福祉部子育て支援課
関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関との情報共有と連携強化のため、県要保護児童対策協議会の各構成団体の取組状況について共有を図った。 	子ども・福祉部子育て支援課
関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> 医療機関と児童虐待防止等に対する認識や情報の共有化を図るため、県児童虐待対応協力基幹病院連絡会議を開催した。(令和4年3月25日(金)オンライン開催) 	子ども・福祉部子育て支援課
関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> 妊娠期からの虐待予防に向けて電話相談「妊娠SOSみえ『妊娠レスキューダイヤル』」を実施した。 相談件数：電話 164件、LINE 256件 	子ども・福祉部子育て支援課
子どもへの支援体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> 各市町に要保護児童・DV対策地域協議会(市町要対協)を設置し、子ども等への支援体制の整備・強化を図った。 市町要対協の運営強化のためのアドバイザーを派遣(8市町・11回)した。 派遣市町数：8市町 派遣回数：11回 	子ども・福祉部子育て支援課
子どもへの支援体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ケースマネジメント等について助言・指導を必要とする市町に対しては、助言者(スーパーバイザー)を定期的・継続的に派遣(3市町・16回)した。 派遣市町数：3市町 派遣回数：16回 	子ども・福祉部子育て支援課

事業	令和3年度事業実施概要	担当課
子どもへの支援体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・「三重県社会的養育推進計画」に基づき、児童養護施設の退所児童等の自立支援を行った。 	子ども・福祉部子育て支援課
児童相談所との合同訓練の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・児童相談センター、児童相談所と警察との連携を強化し、児童虐待事案に適切に対応するため、「警察と児童相談所の合同研修」を実施した。 開催回数：4回 参加者数：87名 	警察本部生活安全部 人身安全対策課
(4) デートDVの防止に向けた啓発等	<ul style="list-style-type: none"> ・若年男女間の暴力（いわゆるデートDV）防止に向けた啓発を行うとともに、デートDVに係る相談対応を行った。また、被害を受けた児童生徒が一人で悩むことがないように、相談窓口を生徒や教職員に周知するとともに、スクールカウンセラーの緊急派遣を行い、被害を受けた児童生徒の心のケアに努めた。 	子ども・福祉部子育て支援課、教育委員会事務局生徒指導課
デートDVの防止に向けた啓発等	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSを活用した「三重県DV・妊娠SOS・性暴力相談」を実施した。 相談件数：DV 118件、妊娠SOS 256件、性暴力 154件 合計528件 	子ども・福祉部子育て支援課
デートDVの防止に向けた啓発等	<ul style="list-style-type: none"> ・若年男女間の暴力（いわゆるデートDV）防止についての学習展開例を掲載した人権学習指導資料の活用を促進した。 	教育委員会事務局人権教育課
DV啓発冊子の配布	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画センター「フレンテみえ」が作成したDV啓発冊子を関係機関に配布した。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課

【施策の方向】 3 性犯罪、性暴力、ストーカー対策等の推進

事業	令和3年度事業実施概要	担当課
(1) 担当者の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> ・公益社団法人みえ犯罪被害者総合支援センターが行う研修会等に職員を派遣し、助言や情報提供等を行い、犯罪被害者等支援全般を管理するコーディネーターの育成に努めた。 職員派遣回数：12回 	警察本部警務部警務課
担当者の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ストーカーおよび配偶者暴力対策を担当する警察職員を対象に、資質向上のための研修を実施した。 実施回数：1回 受講者数：11名（令和3年中） 	警察本部生活安全部 人身安全対策課
女性被害に係る犯罪捜査教養の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・各警察署において主に性犯罪を取り扱う警察官に対して、女性被害に係る犯罪捜査要領、鑑識資料採取要領等の教養を実施するとともに、被害者の心情に配慮した性犯罪捜査の進め方について教養を行った。 	警察本部刑事部捜査第一課
警察担当職員対象の研修	<ul style="list-style-type: none"> ・被害者支援要員や捜査員に対し、警察学校における各種専科教養等において資質向上のための教養を実施した。 実施回数：12回 受講者数：245名 	警察本部警務部警務課
(2) 性犯罪・性暴力被害者支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な支援を行うワンストップ支援センターとして「みえ性暴力被害者支援センター よりこ」を運営し、電話やメール相談・SNS相談・面接・付添い支援等を行い、性暴力被害者が早期に相談をすることで、心身の回復を図ることができるよう、被害者の気持ちに寄り添った支援を行った。 相談件数：637件 	環境生活部くらし・交通安全課
性犯罪・性暴力被害者支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・県内短期大学や看護学校等8団体に出前講座を実施するとともに、県内の大学・高校や中学校、スーパー等への広報カードの配布、コンビニ・カラオケ店舗へのステッカー掲示等の広報活動を行った。 	環境生活部くらし・交通安全課
性犯罪・性暴力被害者支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSを活用した「三重県DV・妊娠SOS・性暴力相談」を継続するとともに、10月から「みえ性暴力被害者支援センター よりこ」の相談時間を1時間延長し、国コールセンター事業と合わせ24時間365日相談対応を開始した。 	環境生活部くらし・交通安全課
犯罪被害者等早期援助団体への情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・犯罪被害者等早期援助団体（公益社団法人みえ犯罪被害者総合支援センター）の周知を図ったほか、犯罪被害者等の同意を得て情報提供するなど、同団体との連携に努めた。 	警察本部警務部警務課
性犯罪の認知	<ul style="list-style-type: none"> ・警察本部および各警察署において、面接相談等を実施した。 性犯罪（強姦性交等、強制わいせつ）認知件数：67件 （令和3年中） 	警察本部刑事部捜査第一課
性犯罪被害者への支援活動の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・医療費等の一部について公費負担制度を活用し、被害者の経済的負担軽減を図った。 公費負担した性犯罪の件数：27件 	警察本部警務部警務課

事業	令和3年度事業実施概要	担当課
<p>(3) 女性相談所における情報提供・相談助言および自立への支援</p>	<p>・女性相談所として福祉制度の情報提供や相談助言を行うとともに、一時保護により自立に向けた支援を行った。 一時保護件数：33件</p>	<p>子ども・福祉部子育て支援課</p>
<p>加害者への対応・被害者保護</p>	<p>・加害者への対応として、検挙等の措置やストーカー規制法に基づく禁止命令・警告を実施したほか、地域精神科医療との連携に基づき、精神科医療への受診を働きかけた。また、被害者保護として、同法に基づく援助等を実施した。 ストーカー規制法違反等での検挙：42件 ストーカー規制法に基づく禁止命令・警告：41件 精神科の受診の働きかけ：5件（受診はなし） ストーカー規制法に基づく援助実施：193件 （令和3年中）</p>	<p>警察本部生活安全部 人身安全対策課</p>
<p>犯罪の検挙・取締り等</p>	<p>・警察本部および各警察署において、凶悪犯罪の検挙活動を実施した。 性犯罪（強制性交等、強制わいせつ）検挙件数：58件 （令和3年中）</p>	<p>警察本部刑事部捜査第一課</p>
<p>少年の福祉を害する性的犯罪等への取組</p>	<p>・少年の福祉を害する性的犯罪等の取締りを実施するとともに、関係機関と連携し、被害児童の保護・支援を実施した。 児童買春・児童ポルノ禁止法違反 検挙件数（人員）：20件（16名）（令和3年中）</p>	<p>警察本部生活安全部 少年課</p>
<p>人身取引防止に関する取組</p>	<p>・被害者の立場に十分配慮した相談・保護活動に努めるとともに、ポスターの掲示やリーフレットの配布など、人身取引防止に関する広報を実施した。</p>	<p>警察本部生活安全部 生活環境課</p>
<p>人身取引防止に関する取組</p>	<p>・例年、入国管理局、女性相談所、男女共同参画センター「フレンテみえ」等の関係機関と緊密かつ円滑な連携を図るため、「人身取引対策に関する関係機関連絡会議」を開催しているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、同会議の開催を中止した。</p>	<p>警察本部生活安全部 生活環境課</p>
<p>(4) 立入活動の実施</p>	<p>・三重県青少年健全育成条例に基づき、立入調査員による書店・コンビニなどへの立入調査活動を実施し、青少年健全育成協力店の登録依頼を行った。 青少年健全育成協力店登録数：915件（令和4年3月末現在）</p>	<p>子ども・福祉部少子化対策課</p>
<p>立入活動の実施</p>	<p>・三重県青少年健全育成条例に基づき、警察官、警察少年補導員等が、カラオケボックス、インターネットカフェ、書店、コンビニなどへの立入調査、要請等を実施した。</p>	<p>警察本部生活安全部 少年課</p>
<p>子どもや女性の安全確保の取組</p>	<p>・「安全で安心な三重のまちづくりアクションプログラム・第2弾」の重点テーマの1つに「女性を犯罪から守る」を位置づけ、県民等への啓発するとともに、地域の防犯活動等をけん引する「安全・安心まちづくり地域リーダー」を養成した。 安全・安心まちづくり地域リーダー養成数：27名</p>	<p>環境生活部くらし・交通安全課</p>
<p>街頭防犯カメラ等の設置推進</p>	<p>・警察本部において街頭防犯カメラを設置するとともに、自治体等に対する働きかけを実施し、街頭防犯カメラ等の設置を促進した。 警察本部における街頭防犯カメラ設置数：1基</p>	<p>警察本部生活安全部 生活安全企画課</p>

計画の推進

1 県の推進体制の充実と率先実行

事業	令和3年度事業実施概要	担当課
(1) 男女共同参画推進 会議の開催	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画に関する施策の円滑かつ効果的な推進を図るため、三重県男女共同参画推進会議等を開催し、事業の周知および連絡調整等を行った。 開催回数：推進会議幹事会3回 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
庁内関係各課への 働きかけ	<ul style="list-style-type: none"> 「三重県男女共同参画推進会議幹事会」を通じて、庁内関係各課へ男女共同参画審議会による外部的評価である「中間評価」の内容を伝達し、施策への反映を働きかけた。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
(2) 次世代育成のための 特定事業主行動 計画に関する取組	<ul style="list-style-type: none"> 産育休取得により長期で職場を離れる職員への情報共有および職場を離れることへの不安軽減のため、職員として知っておきたい情報等を掲載したメールマガジンの配信を実施した。 	総務部人事課
次世代育成のための 特定事業主行動 計画に関する取組	<ul style="list-style-type: none"> 特定事業主行動計画（第2次後期計画）に基づき、「男性職員の子育てのための休暇・休業取得促進プログラム」を実施した。 	総務部人事課
「子育て支援アク シヨンプラン」の 推進にむけた取組	<ul style="list-style-type: none"> 次世代育成支援推進委員会を開催し、第四期特定事業主行動計画の取組状況等について議論した。 	教育委員会事務局教職員課
「子育て支援アク シヨンプラン」の 推進にむけた取組	<ul style="list-style-type: none"> 子育て応援メールマガジン「START」の発行による所属職員の意識啓発や、育児休業中の職員へのメールによる各種情報の送付（3回）を行った。 	教育委員会事務局教職員課
「子育て支援アク シヨンプラン」の 推進にむけた取組	<ul style="list-style-type: none"> 子育て中の男性職員を対象に、「父子健康手帳」を配付した。 	教育委員会事務局教職員課
「子育て支援アク シヨンプラン」の 推進にむけた取組	<ul style="list-style-type: none"> 「子育てのための休暇取得プログラム」の実施について、グループウェアへの掲載を通じて周知した。 	教育委員会事務局教職員課
「子育て支援アク シヨンプラン」の 推進にむけた取組	<ul style="list-style-type: none"> 初任者等がライフ・ワーク・バランス（生活と仕事の調和）についての理解を深めるため、男女共同参画に関する研修講座をインターネットを活用した「ネットDE研修」で配信した。 	教育委員会事務局研修推進課

事業	令和3年度事業実施概要	担当課
働きやすい職場風土づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ワーク・ライフ・マネジメントシートやOJT計画書等を活用し、所属長と職員が面談による対話を行い、職員が働きやすく、またそれぞれの能力を最大限に発揮できる職場風土づくりに努めた。 	全部局
働きやすい職場風土づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> 主に係長以上の職員向けに、求められるリーダーシップを学ぶ研修、上司として部下との関わり方・指導方法を学ぶ研修を実施した。 開催日：令和3年11月19日（金） 11月24日（水） 参加者数：17名 	全部局
基本計画等の周知	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画社会の実現に向け、「第3次三重県男女共同参画基本計画」および「第3次三重県男女共同参画基本計画 第一期実施計画」の周知に取り組んだ。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
職員向け研修への情報提供 (3)	<ul style="list-style-type: none"> 職員研修センターが行う職員向け研修への情報提供を行った。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
広聴体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> 県政運営への活用を図るため、県民の声データベースシステムにより、県に寄せられた県民の皆さんからの意見およびその対応結果を職員間で情報共有するとともに、県民の皆さんとも情報を共有するためウェブサイトで公開した。 	戦略企画部広聴広報課
広聴体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> 「みえ出前トーク」を実施し、県民の皆さんとの意見交換を行う機会を確保した。 	戦略企画部広聴広報課
男女共同参画等に関する広聴の取組	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画および性の多様性に関する施策について、県民の皆さんから寄せられた意見等をふまえ、県の取組への反映や情報共有等の対応を行った。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課

2 三重県男女共同参画審議会による施策評価の実施等

事業	令和3年度事業実施概要	担当課
(1) 自己評価・外部的評価の実施 審議会による「中間評価」の作成 庁内関係各課との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画に関する施策の進捗状況等について、事業マネジメントシートに基づき、自己評価を実施した。 ・三重県男女共同参画審議会による庁内関係各課へのヒアリングを実施し、外部的評価として「男女共同参画施策の推進に係る中間評価」を取りまとめた。 ・三重県男女共同参画審議会による外部的評価である「中間評価」の内容を庁内関係各課へ周知するとともに、引き続き男女共同参画の視点での事業実施を働きかけた。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課 環境生活部ダイバーシティ社会推進課 環境生活部ダイバーシティ社会推進課
(2) 第3次三重県男女共同参画基本計画等に基づく施策の実施 第一期実施計画による進行管理	<ul style="list-style-type: none"> ・第3次三重県男女共同参画基本計画および第一期実施計画に基づき、男女共同参画に関する施策等を実施した。 ○第3次三重県男女共同参画基本計画 計画期間：令和3年度～令和12年度 ○第3次三重県男女共同参画基本計画 第一期実施計画 計画期間：令和3年度～令和7年度 ・第3次三重県男女共同参画基本計画の着実な推進を図るため、第3次三重県男女共同参画基本計画 第一期実施計画に基づき施策の進行管理を行った。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課 環境生活部ダイバーシティ社会推進課
(3) 年次報告書の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・三重県男女共同参画年次報告書を作成し、三重県における男女共同参画の現状、事業実施概要、目標値および参考データ等を取りまとめ、県議会への報告や公表をした。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
(4) e-モニターアンケートなどの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画に関する県民の意識について実態を把握するために、e-モニターアンケートを実施し、県のホームページでアンケート結果の公表を行った。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課

3 市町、高等教育機関、企業・団体等との協創

事業	令和3年度事業実施概要	担当課
(1) 市町審議会等への 参画	・津市、伊賀市、名張市の男女共同参画審議会に委員として、鈴鹿市のSUZUKA女性活躍推進連携会議にオブザーバーとして参画した。	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
「CITYネット男女共同参画inみえ」への参加	・県内各市の男女共同参画担当者が一堂に会し、男女共同参画の業務に関する課題や問題点について話し合う「CITYネット男女共同参画inみえ」に参加し、情報提供や意見交換を行った。 1回参加/年1回開催（オンライン開催）	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
出前フレンテの実施	・男女共同参画センター「フレンテみえ」において、市町の事業にあわせてパネルプレゼンテーションを実施する出前啓発事業「出前フレンテ」を実施した。 実施回数：1回、参加者数：46名	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
基本計画等に関する情報提供および取組支援	・第3次三重県男女共同参画基本計画や女性活躍推進法に基づく推進計画に関する情報を市町に提供した。	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
市町担当者研修の開催	・市町男女共同参画担当職員を対象とした研修として、市町男女共同参画担当者会議を行った。	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
市町会議の開催	・パートナーシップ宣誓制度開始にあたり、県の検討状況やスケジュールについて共有、市町へのサービス適用依頼等を行うため、市町会議をオンラインで3回開催した。	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
(2) 大学における講義	・三重大学、鈴鹿医療科学大学、三重県立看護大学、ユマニテク短期大学、高田短期大学において、男女共同参画やダイバーシティ社会推進に関する講義を行った。	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
「女性の活躍推進三重県会議」企画委員会の開催	・「女性の活躍推進三重県会議」の共同代表および会員企業7社の社員による企画委員会を4回開催し、企業目線での率直な意見を取り入れながら本会議の運営を行った。	環境生活部ダイバーシティ社会推進課

4 男女共同参画センター「フレンテみえ」の機能の充実

事業	令和3年度事業実施概要	担当課
(1) ホームページの充実	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画センター「フレンテみえ」のホームページ上で「男女共同参画ゼミ」およびフレンテまつりにあわせた特設サイト「フレンテまつり2021オンラインwithジェンダー城のナゾ! 2」を実施した。 また、調査研究事業にて作成した絵本「みっちときりー」のデジタルブックを公開した。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
ウェルカムセミナーの実施	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画センター「フレンテみえ」において、施設見学や講演を内容とするウェルカムセミナーを実施した。 開催回数：9回、参加者数：143名 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
「男女共同参画フォーラム」の開催	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画センター「フレンテみえ」において、ホールイベント、分科会、パネル展などをオンラインとのハイブリット形式で開催した。 開催日：令和4年3月5日(土) 参加者数：延べ234名 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
市町事業のPR	<ul style="list-style-type: none"> 「フレンテみえ」情報コーナーやホームページ等において市町のイベントや取組を紹介した。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
調査研究事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画センター「フレンテみえ」において、子ども向け絵本「みっちときりー」を作成、県内を中心に配布した。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
教材の開発	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画センター「フレンテみえ」において、啓発パネル「ジェンダー感・チェックリスト”若者編”」を作成した。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
(2) 事業での託児実施	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画センター「フレンテみえ」が主催する全ての事業において託児を実施した。総合文化センターでは、一部の主催事業で託児を実施した。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
男性講座の実施	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画センター「フレンテみえ」において、男性の男女共同参画についての理解を促進することを目指し、講座を実施した。 ＜男性講座＞ 「ヒトとゴリラと男と女～ゴリラから生き方を学ぶ～」 開催日：令和4年2月6日(日)、3月19日(土) 参加者数：117名 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課

事業	令和3年度事業実施概要	担当課
県民の意識の醸成	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画センター「フレンテみえ」において、国や県の施策に沿ったテーマを分かりやすく伝える講座を実施した。 <フォーカスみえ> 「境界線を越えて スポーツが教えてくれる未来へのヒント」 開催日：令和3年5月9日(土) 参加者数：30名 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
DV被害者のケア・予防策	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画センター「フレンテみえ」において、DV被害者のケアや予防策として、講座を実施した。 <自己尊重感を高めるトレーニング> 「女性のための自分を好きになるトレーニング」 開催回数：5回、参加者数：延べ120名 <あらゆる暴力で悩んでいる女性のための支援事業> 「パートナーとの関係で悩んでいる女性のためのグループ」 開催回数：12回、参加者数：延べ58名 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
(3) 相談事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画センター「フレンテみえ」において、各種相談を実施した。 電話相談：2,190件 面接相談：326件 法律相談：84件 男性のための電話相談：34件 みえにじいる電話相談：63件 みえにじいるSNS相談：18件 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
男女共同参画等に関する相談への対応	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画センター「フレンテみえ」で実施する各種相談等において、必要に応じて関係機関と情報交換等を行った。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
相談員の能力向上・相談体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画センター「フレンテみえ」において、毎月1回、相談コーディネーターから、対応困難な事例についての問題のとらえ方や援助方法について、指導助言を受け、相談員の能力向上と相談体制の整備を図った。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
相談員の能力向上・相談体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画センター「フレンテみえ」において、相談者の心情や現在の状況にあわせた相談ができるよう、外部研修に参加し相談に対する知識・技術向上を図った。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課
フレンテみえ相談窓口の周知	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画センター「フレンテみえ」において、フレンテみえ相談室専用パンフレットを作成・配布し、「フレンテみえ」が県民からのさまざまな相談に対応できる相談機関であることを周知した。 	環境生活部ダイバーシティ社会推進課

事業	令和3年度事業実施概要	担当課
<p>(4) 登録団体等のつどいを開催</p>	<p>・男女共同参画センター「フレンテみえ」において、登録団体等のつどいを開催した。 <フレンテ交流会「フレレク！」オンライン> 開催日：令和4年3月26日（土） 参加者数：8名 <登録団体のつどいオンライン> 開催日：令和3年4月24日（土） 参加団体：8団体 参加人数：10名</p>	<p>環境生活部ダイバーシティ社会推進課</p>
<p>市町への取組支援</p>	<p>・男女共同参画センター「フレンテみえ」において、市町の取組の推進を図るため、予算的支援と同時に事業企画やノウハウの提供、運営相談等を行った。</p>	<p>環境生活部ダイバーシティ社会推進課</p>
<p>あらゆる場で活躍する、これからの男女共同参画に必要な人材を育成する事業</p>	<p>・男女共同参画センター「フレンテみえ」において、これからの男女共同参画に必要な人財を育成する講座を実施した。 <種まきプロジェクト①“地域”編> 「“話し合い”を前にすすめるために ～自分も相手も大切にコミュニケーションの方法～」 開催日：令和3年7月31日、10月9日、10月30日 11月13日、12月11日（各土） 参加者数：延べ93名 <種まきプロジェクト②“働く”編> 「近未来リーダー☆育成プロジェクトSTEP2」 開催日：令和3年11月10日、17日、24日（各水） 参加者数：延べ22名 <種まきプロジェクト③“社会の課題”編> 「こどもたちに大切なことを伝えられる大人になる ～いのちと愛の防犯 今、伝えたい親から子どもへの性教育～」 開催日：令和3年7月4日（日） 参加者数：39名</p>	<p>環境生活部ダイバーシティ社会推進課</p>

